

## XI 教員業績一覧

- ・研究業績
- ・社会貢献活動



## デザイン学部

### 蓮見 幸

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／道具学会／（一社）日本デザインコンサルタント協会／（公社）日本インダストリアルデザイナー協会

＜講演会・講習会活動＞筑波大学特別講義：大学と学問「明日の社会をデザインする」（平成27年6月24日、筑波大学）／七栗リハビリテーションセミナー「アートによる日常リハビリテーション」（平成27年8月21日、藤田保健医療大学）／芦別市ふるさと商店街元気再生支援事業ミニ講演「暮らし合うしくみとしての商店街づくり」（平成27年9月30日、北海道経済部地域経済局中小企業課）／茨城県商工会議所連合会創立60周年記念講演「人口減少社会における地域と企業の未来－街・人・仕事創生にどう取り組むか－」（平成27年10月21日、茨城県商工会議所連合会）／芦別市ふるさと商店街元気再生支援事業ミニ講演「芦別の光を觀せよう！－人と社会をつなげる“おいふる商店街”」（平成27年10月27日、北海道経済部地域経済局中小企業課）／いばらきデザインセレクション2015表彰式「審査委員長による審査講評」（平成27年11月6日、茨城県デザインセンター）／シンポジウム「大学生、大学、地域を活性化するには？」：「大学生が地域づくりに取り組み活性化させる」（平成27年11月6日、筑波大学メンター会・筑波大学リサーチユニット共催）／南区の会講演会「未来に向けた生業の創生－コントラストティブ発想で描き出す－」（平成27年11月11日、南区の会）／札幌卸商連盟特別講話「札幌市立大学における最近の産学官連携の取組について」（平成27年12月10日、札幌卸商連盟）／平成27年度 いばらき子ども大学「さあ、大好きなまち「いばらき」をつくろう！」：「おとぎばなし」と「まちづくり」」（平成28年2月13日、NPOまいづる19、NPOひたち親子の広場、NPOインパクト）／第1回・福祉&介護アイデアソン「ソーシャルケアの現場の課題をクリエイティブで解決しよう！」（平成28年2月19日、（公社）日本インダストリアルデザイナー協会）／都心まちづくりフォーラム2016「都心まちづくりフォーラム2016／パネルディスカッション」（平成28年3月16日、札幌市（市民まちづくり局））

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞茨城県総合計画審議会委員（副会長）、総合部会（部会長）（平成27年4月24日、6月25日、8月10日、9月1日、12月16日、12月25日、平成28年1月29日、2月22日、茨城県（企画部））／茨城県まち・ひと・しごと創生会議委員（座長）（平成27年6月2日、7月30日、10月9日、茨城県（政策審議室））／水郷筑波サイクリング環境整備総合計画策定委員会（平成27年7月24日、9月2日、11月16日、平成28年2月4日、茨城県（企画部、土木部））／東海旅客鉄道株式会社デザイン委員（嘱託）（平成27年8月13日、平成28年2月29日、3月7日、東海旅客鉄道株）／都心まちづくり計画策定協議会委員（8月20日、12月17日、平成28年3月8日、札幌市長）／土浦全国花火競技会審査委員（平成27年10月3日、10月4日、土浦全国花火競技会実行委員会）

### 酒井 正幸

＜学会発表＞Art&Designを活かした地域創生手法に関する研究－1（共同、平成27年6月、日本デザイン学会春季大会）

＜学会役員就任状況＞日本人間工学会（北海道支部役員）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本人間工学会／日本感性工学会／ヒューマンインタフェース学会／日本人間工学会アーゴデザイン部会／日本人間工学会人間工学専門家認定機構

＜講演会・講習会活動＞円山動物園の森ボランティア講習会「動物園の森の目指すもの&昆虫とデザイン」（平成27年4月4日、札幌市円山動物園）／同友会大学「ビジネスとデザイン戦略」（平成27年5月21日、北海道中小企業家同友会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ものづくり日本大賞北海道地域選考分科会（平成27年4月23日、北海道経済産業局）／NPO北のユニバーサルデザイン協議会副理事長（平成27年4月～平成28年3月）／北海道共同募金会広報企画委員会委員長（平成27年4月～平成28年3月）／札幌市円山動物園の森協議会委員（平成27年4月～平成28年3月）

### 城間 祥之

＜調査研究報告書＞1.地域創生をデザインする－都会と地方の魅力相乗モデル開発－（平成28年3月、札幌市立大学 地域創生デザイン研究会）



＜学会発表＞1.Art & Design を活かした地域創生手法に関する研究－1－第1報－地域創生デザイン学の確立のためのTSS 研究（共同、日本デザイン学会第62回研究発表大会、平成27年6月）／2.Art & Designを活かした地域創生手法に関する研究－短期居住体験者の日報のテキストマイニング分析－（共同、第17回日本感性工学会大会、平成27年9月）／3.パッケージデザインの印象評価に関する日中比較研究－麻婆豆腐とカレーのパッケージデザインに対する印象度評価を通して－（共同、第17回日本感性工学会大会、平成27年9月）／4.聖地巡礼のすすめ－聖地の魅力を発信するアプリケーション制作－（共同、日本感性工学会北海道支部学生会第3回研究発表会、平成27年11月）／5.パッケージデザインの印象評価に関する日中比較研究（第3報）－麻婆豆腐とカレーのパッケージに対する印象度評価－（共同、日本感性工学会北海道支部学生会第3回研究発表会、平成27年11月）／6.パッケージデザインの印象評価に関する日中比較研究－家庭料理用加工食品のパッケージに対する印象度評価を通して－（共同、感性フォーラム札幌2016、平成28年2月）／7.オンラインアンケートを用いた回答者の理解度向上を通じた製品設計手法－死産児安置の為の棺の悲しみを癒す要素の解明－（共同、第11回日本感性工学会春季大会、平成28年3月）

＜学会招聘講演＞イノベーションへの道：デザイン思考－試作品製作事例に学ぶ－（平成28年2月、琉球大学工学部）／デザイン思考－試作品製作事例に学ぶ－（平成28年3月、清華大学美術学院）

＜論文査読・学会抄録査読＞日本感性工学会論文誌（3件日本感性工学会）／Tools and Methods of Competitive Engineering（3件、TMCE 2014 Symposium）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会（日本感性工学会第9期理事（平成25年9月～平成27年9月）、第10期理事（平成25年10月～））／芸術工学会（芸術工学会理事）／日本感性工学会（日本感性工学会北海道支部支部長（平成25年11月～平成27年11月）、（平成27年11月～））

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2016（平成28年2月開催）／日本感性工学会北海道支部学生会第3回研究発表会／第17回日本感性工学会大会／第11回日本感性工学会春季大会

### 上遠野 敏

＜調査研究報告書＞1.炭鉱の記憶アートプロジェクトによる地域活性化 空知炭鉱遺産の活用を通じた魅了発見（単著、平成28年3月、札幌市立大学地域創成デザイン研究会、pp.34-37）

＜作品発表＞千の風 千の谷（地底からの風）（単独、平成27年9月～10月、そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014）／千の風 千の谷（丘）他3作品（全5作品）（単独、平成27年9月～10月、そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014）

＜講演会・講習会活動＞清華大学美術学院 講演アートはイマジネーションの宝庫 宝島への航海を始めるために（平成27年3月24日、清華大学美術学院）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞三吉神社例大祭を楽しくする会地域再生プロジェクト：キャラクターグッズ開発、ゲーム冊子 アートディレクター／nop炭鉱の記憶推進事業団そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014アートディレクター

### 安齋 利典

＜調査研究報告書＞1.平成27年度共同研究 次期給湯器デザイン（共著、平成28年3月、札幌市立大学）

＜受賞等＞Best Paper Award（平成27年11月、IASDR2015）

＜学会発表＞1.企業ウェブサイトにおけるデザイン最適化に関する研究－その8（管理）（単独、平成27年6月、第62回日本デザイン学会春季研究発表大会）／2.An Analytic Study of Corporate Website HCD and Integrated Website Management（単独、平成27年11月、IASDR2015）／3.デザインマネジメントと感性（単独、平成28年2月、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2016）

＜学会座長就任状況＞6/13土曜日口頭発表A7（平成27年6月、第62回日本デザイン学会春季研究発表大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞札幌市立大学研究論集（1件、札幌市立大学）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／芸術工学会／HCD-NET（Human Centered Design Organization）NPO法人人間中心設計推進機構

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道デザインマネジメントフォーラムセミナー開催支援 「「3×4@デザインマネジメントプログラム」を学ぶ!」（道総研工業試験場、平成27年8月7日）



## 石井 雅博

＜調査研究報告書＞1.科研A共著（共著、平成28年3月）

＜受賞等＞1.EC2015口頭発表賞最優秀論文（平成27年9月、エンターテインメントコンピューティングシンポジウム実行委員会）

＜学会発表＞1.Disparity defined depth of a dynamic random noise patch within a static random dot field is easier to see than that of a normal random dot stereogram（共同、平成27年5月、Vision Sciences Society）／2.Apparent depth of a patch of dynamic random noise within a static field of random dots（共同、平成27年5月、Vision Sciences Society）／3.Modulation of line length judgment of Vertical Horizontal illusion by mathematical observation（共同、平成27年5月、Vision Sciences Society）

＜学会シンポジウム＞上肢運動が多義的視運動刺激の知覚に及ぼす影響（単独、平成27年9月、エンターテインメントコンピューティングシンポジウム）

＜研究会発表等＞運動視差による奥行き知覚における頭部運動方向の影響（単独、平成28年2月、電子情報通信学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学会（1件、デザイン学会）／2.感性工学会（1件、感性工学会）／3.International Journal of Affective Engineering（1件、感性工学会）／4.映像情報メディア学会（1件、映像情報メディア学会）／5.電子情報通信学会（5件、電子情報通信学会）

＜学会役員就任状況＞電子情報通信学会（リエゾン委員）／電子情報通信学会（論文誌特集号編集委員）／電子情報通信学会（ヒューマン情報処理研究会副委員長）／バーチャルリアリティ学会（日本バーチャルリアリティ学会論文委員）／バーチャルリアリティ学会（VR心理学研究会委員）／日本視覚学会（世話人）

＜学術集会運営＞日本視覚学会夏季大会／電子情報通信学会研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞視覚科学技術コンソーシアム（幹事）

## 齋藤 利明

＜作品発表＞1.リラ（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／2.たまゆら（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／3.万葉（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／4.ネモフィラ（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／5.白藜（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／6.片鹿子（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／7.高野聖（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／8.撫子（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／9.苧環（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／10.胡桃（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／11.玉兔（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／12.若竹（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）／13.亜麻（単独、齋藤利明人形展、平成28年2月18日～2月23日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「生物多様性さっぽろ絵本コンテスト」（平成27年1月25日、札幌市環境局）／北海道建築学会賞審査委員（平成27年5月7日～10月30日、北海道建築学会）／一般公募「アート・ボックス」審査委員（平成28年1月14日～3月3日、札幌駅総合開発株式会社）／

## 中原 宏

＜学術論文＞1.札幌市の地域構造と生活・居住環境よりみた地域コミュニティの活性化に関する考察（共著、平成27年6月、日本建築学会技術報告集、21巻、48号、pp799-804）／2.札幌市における身近な生活環境の地域格差に関する考察・買い物・駅勢圏からみた充足率の分析（共著、平成27年11月、日本デザイン学会デザイン学研究、62巻、4号、pp11-16）／3.まちづくりのはじまりをデザインする 古建築群を核とした「よそ者デザイン集団」によるまちづくりプラットフォームの形成（共著、平成28年3月、日本デザイン学会デザイン学研究作品集、21巻、1号、pp2-7）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集 第10巻1号（1件、平成27年11月、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（論文審査委員会査読委員）／北海道都市地域学会（理事）

＜講演会・講習会活動＞芸術の森地区社会福祉協議会創立20周年記念事業「地域の拠点としての札幌市立大学の取組」（平成28年2月13日、芸術の森地区社会福祉協議会）



## 羽深 久夫

＜学術論文＞1.明治39年に行なわれた桐古天主堂改修工事における工事費受払の特徴（共著、平成27年10月、日本建築学会計画系論文集、80巻、716号、pp.2327-2337）／2.明治39年に行なわれた桐古天主堂改修工事（共著、平成27年10月、日本建築学会技術報告集、21巻、49号、pp.1273-1278）／3.函館市西部地区における建物と坂道の関係性（共著、平成28年3月、札幌市立大学、10巻、1号、pp.59-66）／4.北海道沿岸部における漁業小屋の調査（共著、平成28年3月、札幌市立大学、10巻、1号、pp.95-106）／5.産後の子宮触診技術に活用できる装着型産褥子宮モデルの開発（共著、平成28年3月、札幌市立大学、10巻、1号、pp.31-38）

＜学会発表＞1.北海道における戦後建築の変遷とその特徴 その2（共同、平成27年6月、日本建築学会北海道支部）／2.札幌農学校附属第八農場付属施設の種類とその特徴（共同、平成27年9月、日本建築学会）／3.母性看護学における看護実践能力を向上させるための教材開発（共同、平成27年10月、日本母性衛生学会）

＜学会シンポジウム＞1.道民の力で北海道の歴史的建造物をまもり、活かすために一國指定重要文化財豊平館の構造補強と附属棟新築を事例として－（単独、平成27年10月、日本建築学会）

＜学会招聘講演＞1.世界遺産の歴史学的意義（建築学史の視点から）（単独、平成27年8月、日本看護歴史学会）

＜研究会発表等＞1.北海道における戦後建築の変遷 その1（共同、平成27年10月、建築史意匠調査研究会）／2.北海道における戦後建築の変遷 その2（共同、平成27年12月、建築史意匠調査研究会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（2件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（建築歴史・意匠本委員会日本建築史小委員会委員）／日本建築学会北海道支部（日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員会委員）

＜講演会・講習会活動＞NHK新さっぽろ文化講座2015特別講座 丹下健三と清家清の建築 2-3月／NHK新さっぽろ文化講座2015春・夏講座 全6回 西洋バロック建築 4-9月／NHK新さっぽろ文化講座2015春・夏講座 全6回 日本の近代建築 4-9月／NHK新さっぽろ文化講座2015秋・冬講座 全6回 西洋ロココ建築 10-3月

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座 講義（平成27年7月、北海道教育委員会・北海道建築士会）／市立大学とコラボして活性化（平成27年8月、北海道中小企業家同友会）／札幌市における文化財建造物の保存再生（平成27年11月、平成28年1月、アジア招提）／北海道における宗教建築の意義（平成27年11月、アカデミーフォーラム研究会）／「建築学および建築学関連分野」JABEE審査プログラム審査委員（日本技術者認定機構）／札幌芸術の森運営協議会 委員（札幌市芸術文化財団）／札幌芸術の森美術館専門員会 委員（札幌市芸術文化財団）／理事長・事務局（NPO法人北の民家の会）／北海道地区幹事（NPO法人日本民家協会）／君の椅子プロジェクトの推進活動（NPO法人アルテピアッツァ美唄）

## 原 俊彦

＜学術論文＞1.《地方創生》の結婚・出生促進効果（単著、平成27年5月、統計、66巻、5号、pp.56-59）／2.Unit 03-B: 地方創生における少子化対策の在り方とは？03\_少子化対策と地方創成（単著、平成27年12月、SPACE NIRA、pp.1-3）／3.Unit 03-B: What is the Best Orientation for Measures targeting Low Fertility in Regional Revitalization Policy?（単著、平成28年1月、SPACE NIRA、pp.1-3）

＜調査研究報告書＞1.人口転換モデルの改良と拡張 その1：長寿化・少子化と経済成長の関係について 科学研究費助成事業：学術研究助成基金助成金 基盤研究（B）人口転換の現代的解析に基づく新たな人口潮流とライフコース変動に関する総合的研究 研究代表者：金子隆一 分担研究者 2014年度 報告書（単著、平成27年4月、国立社会保障・人口問題研究所、1巻、pp.55-69）

＜その他の論文＞1.視点論点「新しいステージに向かう超高齢社会」（単著、平成27年5月、開発こうほう、622巻、pp.20-21）／2.【往来】人口減少社会のゆくえー『地方消滅』報道以降の動き」（単著、平成27年6月、現代社会学研究、28巻、pp.35-44）

＜学会発表＞1.北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応・地域人口分析システムの構築【その1】：地域別将来推計人口とGIS（地理情報システム）のリンク」（主共同発表者、平成28年1月、



2015年度第1回東日本地域部会)

＜学会シンポジウム＞1.「縮減する社会」としての日本：置換水準の出生力を回復するための条件（単独、平成28年1月、日独シンポジウム「少子高齢化対策戦略」）／2.日本の人口転換と地域社会の持続可能「シンポジウム：人口減少社会における家族と地域のゆくえ」（単独、平成27年6月、日本家族社会学会第25回大会）／3.「日本の人口転換と地域創生」「シンポジウム：人口減少社会のゆくえ」（単独、平成27年9月、北海道社会学会 第63回大会）

＜学会招聘講演＞1.政策科学としての人口学の可能性（会長講演）（単独、平成27年6月、日本人口学会）／2.Japan als schrumpfende Gesellschaft:Was sind die Voraussetzungen für die Wiederherstellung der Ausgleichsrate 2.07?（単独、平成28年3月、ドイツ人口学会）／3.Die Familienleitbilder in Japan—Überlegung von den bisherigen Untersuchungsergebnissen（単独、平成28年3月、BiB-Kolloquium）

＜研究会発表等＞1.ドイツの新しい家族観調査（2012）—低出生力の文化的背景（単独、平成27年10月、新人口転換科研 第3回研究会）

＜学会座長就任状況＞シンポジウム：地域人口は消滅するのか？（平成27年6月、日本人口学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本人口学会（日本人口学会会長）／北海道社会学会（北海道社会学会会長）

＜講演会・講習会活動＞第1回中央4地区合同例会：（一社）北海道中小企業家同友会札幌支部「超高齢社会の現状とシニアビジネスの可能性」（平成27年7月24日、北海道中小企業家同友会）／道南ブロック社会教育主事等研修会「道南ブロック（渡島・檜山・胆振・日高）の人口—その将来を考える」（平成27年9月9日、石狩市壮警町）／石狩振興局「地方創生セミナー」「日本の人口転換と札幌圏の少子化」（平成27年9月11日、石狩振興局）／第8回 GISコミュニティフォーラム in 北海道「北海道の地方創生におけるGISの活用」（平成27年9月29日、㈱ESRI JAPAN）／いしかり市民カレッジ 平成27年度 主催講座 14 「【第1回】日本の人口転換と『地域消滅』の危機」（平成27年10月23日、いしかり市民カレッジ）／いしかり市民カレッジ 平成27年度 主催講座 14 「【第2回】北海道の人口減少と『地域創生』の可能性」（平成27年10月30日、いしかり市民カレッジ）／第2回北のシニアビジネス交流会 in 札幌「地域創造性・一億総活躍時代のシニアビジネス」（平成28年2月18日、北のシニアビジネス交流会実行委員会）／北海道中小企業家同友会 札幌支部 南地区2月例会「高齢化先進地域 南区の現状とビジネスチャンス」（平成28年2月19日、北海道中小企業家同友会）

## 細谷 多聞

＜学会発表＞1.グループウォーキングの継続を促す要因の研究（共同、平成27年6月、第62回日本デザイン学会春季研究発表大会）／2.グループウォーキングを分析するための発話分析手法の開発（共同、平成27年9月、第17回日本感性工学会大会）／3.人工物に生命感を与える AI 声帯の研究（共同、平成27年9月、第17回日本感性工学会大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（概要集編集委員会委員）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／芸術工学会／日本感性工学会

## 町田 佳世子

＜学会発表＞1.知識を伝える工夫—専門家の大人と子どもに対する発話連鎖の比較から（共同、平成27年6月、全日本博物館学会第41回研究大会）／2.What do good small-talkers do to make their small talk active and smooth?（共同、平成27年7月、The 14th International Pragmatics Conference）／3.言葉の力を探る—人を喜ばせる言葉、不快にさせる言葉（単独、平成27年10月、日本質的心理学会第12回全国大会）

＜研究会発表等＞1.専門的実践家による知の伝達—会話分析を用いて（共同、平成27年9月、教育学研究集会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人大学英語教育学会北海道支部（研究企画委員）／日本コミュニケーション学会北海道支部（監事）

＜学術集会運営＞JACET 55th International Convention実行委員会／HELES・JCA北海道支部・JACET北海道支部2015年度合同研究会

＜所属学会・研究会＞日本コミュニケーション学会／International Pragmatics Association／一般社



団法人 大学英語教育学会／日本質的心理学会／日本語用論学会／産業・組織心理学会／全日本博物館学会／日本動物園水族館教育研究会

＜講演会・講習会活動＞株式会社アイティ・コミュニケーションズ フレッシュマンコミュニケーションセミナー「コミュニケーションとは」（平成27年4月1日、株式会社アイティ・コミュニケーションズ）／札幌医科大学保健医療学部 保健医療総論における講演「人をつなぐ私たちの営みーコミュニケーションについて考える」（平成27年4月8日、札幌医科大学保健医療学部）／北海道大学教育学部 健康教育学における講義「動物を介した人の心と知の変化」（平成27年6月22日、北海道大学教育学部）

### 矢部 和夫

＜調査研究報告書＞1. 科研成果報告 低地泥炭湿原の群落の景観と種組成における地理的変異の把握とその生成機構の解明（平成27年6月）／2. 円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のための研究（平成28年1月）／3. ウトナイ湖北岸における湿生草原の再生手法検討（平成28年2月）／4. キウシト湿原植生調査研究（平成28年2月）

＜研究会発表等＞1. 幌向再生（石狩川下流幌向地区自然再生）事業の進捗と展望（宮島沼研究会）

＜学会役員就任状況＞日本湿地学会（理事、学術研究支援）

＜学術集会運営＞ウェットランドセミナー運営幹事

＜講演会・講習会活動＞藻岩高校 環境教育講座（デザイン学部で高校生5人対象に実施 平成25年9月）／環境教育（美々川）道胆振総合振興局 室蘭建設管理部主催／トライアスカル2015体験学習

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門職就任（植生管理アドバイザー）（北海道胆振総合振興局）

### 吉田 和夫

＜作品発表＞1. 千客万来「ヨが四つでヨシダ」父からむすめへ贈る家の印（単独、平成27年9月3～7日、2015 TGC展「プレゼント」東京グラフィックデザイナーズクラブ/銀座かねまつホール）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞広告電通賞 地区選考委員会 委員長（平成26年9月～平成28年8月、広告電通賞審議会）／駅前通地下広場広告デザイン審査会 委員（平成27年4月～平成28年3月、札幌駅前通まちづくり株式会社）／札幌版次世代住宅認定証デザイン修正（平成28年3月9日～3月31日、札幌市都市局市街地整備部住宅課）

### 柿山 浩一郎

＜学術論文＞1. オンラインアンケートを用いた回答者の理解度向上を通じた製品設計手法（共著、平成28年3月、日本感性工学会論文誌、15巻、3号、pp.337-343）

＜著書＞1. 地域創生をデザインする（共著、平成28年3月、978-4-9908926-0-9 C3036、札幌市立大学）

＜調査研究報告書＞1. 平成27年度 共同研究 次期給湯器デザイン（平成28年3月、札幌市立大学）／2. 地域住民を交えたデザイン・看護合同シュミレーション教育の基礎的研究（平成28年3月、札幌市立大学）／3. E-KANGO Project 2013&2014（平成28年3月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1. Art&Designを活かした地域創生手法に関する研究-2（共同、平成27年7月、日本デザイン学会誌 第62回研究発表大会概要集）／2. 市民を交えたシミュレーション授業の効果計測手法の検討（単独、平成28年3月、日本感性工学会 第11回春季大会予稿集）

＜学会シンポジウム＞1. 超高齢社会に果たす感性工学の役割 高齢者と家電製品・サイン（平成27年9月、2015年度日本機械学会年次大会）

＜研究会発表等＞1. 科研「タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究」の紹介（平成27年7月、「地域資源を基盤とする創造的復興とレジリエンス力強化に関する実践研究」公開研究会）

＜学会座長就任状況＞1. インタフェース、感性工学（平成27年6月、日本デザイン学会 第62回研究発表大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（日本デザイン学会 春季大会梗概集編集委員会 幹事長）／日本感性工学会（日本感性工学会 論文編集委員会 論文編集委員）／日本デザイン学会（日本デザイン学



会評議委員)

＜学術集会運営＞日本デザイン学会 第62回春季研究発表大会／感性フォーラム札幌2016／日本感性工学会北海道支部 学生会第3回研究発表会

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／日本教育工学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ビジネスエクスポへの出展（平成27年11月5日～6日、北海道技術・ビジネス交流会 実行委員）／札幌デザインウィーク2015への出展（平成27年10月25日 ブース担当と搬出）「地域の新しい暮らし方と未来」（平成27年10月24日・25日、札幌デザインウィーク実行委員会、札幌市立大学）

## 齊藤 雅也

＜学術論文＞1.パッシブ換気住宅における薪ストーブを用いた全室暖房時のエクセルギー評価（共著、平成28年1月、日本建築学会環境系論文集、81巻、719号、pp.73-82）／2.木質バイオマスを活かす地域熱供給システムのエクセルギー解析 北海道下川町を事例として（共著、平成28年3月、日本建築学会環境系論文集、81巻、721号、pp.295-305）

＜著書＞1.北の住まいの熱環境計画2015（共著、平成27年11月、北海道建築技術協会、pp.90-117）／2.新得町都市農村交流施設 カリンパニ、新建築2015（10月号）（共著、平成27年10月、新建築社、pp.118-125）

＜調査研究報告書＞1.平成26年度受託研究報告書 森林保全・資源循環のための地域レベルのエネルギー解析（共著、平成27年10月、札幌市立大学）／2.平成26年度受託研究報告書 ホッキョクグマ・アザラシ館（仮称）のデザイン研究（共著、平成28年2月、札幌市立大学）／3.平成26年度受託研究報告書 大規模複合商業施設における商学連携による地域向け住環境教育のデザイン研究（共著、平成28年2月、札幌市立大学）／4.平成26年度受託研究報告書 札幌市円山動物園アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修（共著、平成28年2月、札幌市立大学）／5.平成26年度受託研究報告書 生き物のハビタットとしての里山環境・都市公園のエネルギー環境の調査・解析（共著、平成28年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.Art&Designを活かした地域創生手法に関する研究-2 第2報-地域を対象とした研究における仕掛けづくり（共同、平成27年6月、日本デザイン学会第62回研究発表大会）／2.地域で取り組むグリーンカーテン栽培の住民意識と行動（共同、平成27年6月、日本デザイン学会第63回研究発表大会）／3.木質バイオマス利用の建築生産と地域熱供給に関するエクセルギー解析（共同、平成27年8月、日本エネルギー学会第24回大会）／4.薪ストーブを利用したパッシブ換気住宅のエクセルギー収支（共同、平成27年9月、日本建築学会大会学術講演梗概集）／5.Thermal Adaptation of Elementary Students in Summer based on Cognitive Temperature Scale in the case of Sapporo and Kumamoto（共同、平成27年9月、日本建築学会大会学術講演梗概集）／6.木質バイオマスを活かす地域熱供給システムのエクセルギー解析-北海道下川町を事例として-（共同、平成27年9月、空気調和・衛生工学会大会）／7.トイレからの救急搬送と気象要因の関係（共同、平成27年11月、第74回日本公衆衛生学会総会）／8.北海道における特別養護老人ホームのエネルギー消費実態（共同、平成27年11月、第74回日本公衆衛生学会総会）／9.高齢者の人体エクセルギー消費と血圧に関する調査研究（共同、平成27年11月、第74回日本公衆衛生学会総会）／10.4疾患による死亡割合の季節性変動分析（共同、平成27年11月、第74回日本公衆衛生学会総会）／11.木質バイオマスをを用いた地域熱供給システムの評価とその計画設計方法への展開（共同、平成28年1月、日本エネルギー学会 バイオマス部会/第11回バイオマス科学会議）／12.住宅における夏季の住環境改善のための住まい方の提案（共同、平成28年2月、日本感性工学会感性フォーラム札幌2016）／13.熊本と東京における児童の教室内での暑熱不快感と環境調整行動の関係 小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究（3）（共同、平成28年3月、日本建築学会九州支部）／14.積雪寒冷地における住宅群を対象としたコミュニティ暖房の検討（共同、平成28年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部 第50回学術講演会）／15.寒冷地における超高性能パッシブ換気住宅に関する実測調査（その1）夏期・中間期の室内環境評価（共同、平成28年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部 第50回学術講演会）／16.住宅における採冷空間デザイン（共同、平成28年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部 第50回学術講演会）

＜学会シンポジウム＞1.バイオクライマティックデザインの視点から地域・都市・建築の環境を考える（単独、平成27年10月、日本建築学会 環境工学委員会 第45回熱シンポジウム）／2.人の想像温度と温



熱環境適応（共同、平成27年10月、日本建築学会 環境工学委員会 第45回熱シンポジウム）／3.林業から住宅・バイオマスを利用した地域熱供給の事例紹介（共同、平成27年10月、日本建築学会 環境工学委員会 第45回熱シンポジウム）

＜学会招聘講演＞1.癒しの生活空間－患者さんが安心して暮らせる環境づくり－明・温・涼な室内気候を創る（単独、平成27年5月、日本脳神経看護研究学会）

＜研究会発表等＞1.第1回 北のケア環境改善フォーラム 明・温・涼な室内気候のデザイン（単独、平成27年7月、北のケア環境研究会）／2.産総研コンソーシアム 第9回セミナー エクセルギー消費の最適化と建築環境デザイン（単独、平成27年9月、建築物低炭素化材料評価システム技術コンソーシアム）

＜学会座長就任状況＞1.エコスクール（単独、平成27年9月、日本建築学会大会学術講演会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会環境系論文集（2件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（2件、日本建築学会）／3.日本建築学会大会選抜梗概（5件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（バイオクライマティックデザイン小委員会委員長）／日本建築学会北海道支部（学術委員会委員長）／空気調和・衛生工学会北海道支部（運営委員）／Low Ex Network (LowEX. Net 委員)

＜学術集会運営＞日本建築学会環境工学委員会熱シンポジウム／空気調和・衛生工学会北海道支部地区セミナー「CxF（コミショニング業務受託事業者）登録制度の創設とCxビジネスの展開」／日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会主催 第9回環境工学系・卒業論文発表会

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本感性工学会／日本デザイン学会／日本公衆衛生学会／北海道自然エネルギー研究会／住まい・環境教育学会

＜講演会・講習会活動＞文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）SS実験講座 環境科学実験「ペットボトルハウスで涼房と温房を考える」（平成27年12月3日、北海道旭川西高等学校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞BIS試験講習委員会 委員（養成講習会 講師）「開口部の計画、防暑計画」（平成28年1月8日、1月20日、北海道建築技術協会）／バイオマスによるコミュニティ暖房・給湯のエクセルギー評価（平成27年4月～平成28年3月、下川町）／特別会員（学術的支援）（平成27年4月～平成28年3月、特定非営利活動法人 外断熱推進会議（EiPC））／地域交流施設カリンパニホール オープンハウス（平成27年4月17日、共働学舎 新得農場）／平成26年度 建築作品選集委員会 北海道支部審査委員（平成27年6月～平成27年9月、日本建築学会）／看護臨床分野に対しての室内温熱環境デザイン面に関する学術的支援「明・温・涼な室内気候のデザイン」（平成27年7月3日、北のケア環境研究会）／Hokkaido Nikken Sekkei July Forum「外からのインパクトを変換・調整するデザイン」（平成27年8月21日、㈱北海道日建設計 設計フォーラム委員会）／2015年大会関連行事 楽々都市・楽々建築@東京2015 小 中学校の授業や市民講座でつかえるワークショップの実践者育成講座「ワークショップ8 体感温度」（平成27年8月29日～30日、日本建築学会）／平成27年度 振興賞運営委員会技術振興賞北海道支部推薦小委員会（平成27年10月～12月、公益社団法人空気調和・衛生工学会）／国立大学法人北海道大学・北海道瓦斯株式会社・日本環境技研株式会社 北海道大学サステイナブルキャンパス・エネルギー構想調査検討委員会（平成27年10月～平成28年2月、国立大学法人北海道大学）／断熱住宅と札幌版次世代基準の目指すいえー基準改定を機に「断熱住宅と札幌版次世代基準の目指すいえー基準改定を機に」（平成28年2月16日、エクセルシャノン・ジェイベック・トルネックス共催セミナー）／平成27年度セミナー（ファシリテーター・司会として）「CxF（コミショニング業務受託事業者）登録制度の創設とCxビジネスの展開」（平成28年3月4日、公益社団法人 空気調和・衛生工学会北海道支部）

## 武田 亘明

＜その他の論文＞1.クリエイティブ人材の実践的育成のためのICT教育環境（単著、平成27年7月、日本教育工学会、15巻、3号、pp.135-138）／2.新聞情報を活用した社会的課題の発見と解決の能力の開発（単著、平成28年3月、日本教育工学会、16巻、1号、pp.81-88）

＜学会座長就任状況＞1.教師教育・教育の情報化 D会場（平成27年7月、日本教育工学会）／2.教科指導におけるICT活用（平成27年9月、日本教育工学協会）／3.ICTを活用した学習支援環境・基盤 B会場（平成28年3月、日本教育工学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞札幌市立大学紀要（1件、札幌市立大学）



＜学会役員就任状況＞日本教育工学協会（理事）／教育とコンピュータ利用研究会（副会長、北海道支部長）／北海道企画デザイン研究会（代表）

＜所属学会・研究会＞情報処理学会／日本教育工学会／日本教育工学協会／北海道中国哲学会／教育とコンピュータ利用研究会／北海道企画デザイン研究科

＜講演会・講習会活動＞第63回日本PTA全国研究大会札幌大会第一分科会組織運営実践発表「改革・変化・協力-H22～23年に札幌市中央区三角山小PTA見直し委員会に携わった経験から」（平成27年8月21日、公益社団法人日本PTA全国協議会）／第63回日本PTA全国研究大会札幌大会第一分科会パネルディスカッション「「チーム力の育み方」～ともにふみだそう、ともに育てよう、ともにつなげようLet's enjoy PTA～」（平成27年8月21日、公益社団法人日本PTA全国協議会）／全日本中学高校Webコンテスト「第二次審査」（平成27年12月、特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会）／南幌町生涯学習推進基本構想研修会「生涯学習によるまちづくり～人材の育成を中心として～」（平成28年1月19日、南幌町教育委員会）／平成27年度富良野市家庭教育セミナー「メディア社会を生きる子どもと地域のかかわり方」（平成28年2月23日、富良野市教育委員会）／平成27年度青少年健全育成の集い「情報社会における青少年を取りまく現状と課題」（平成28年2月25日、北海道女性団体連絡協議会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「6. 6みんなとえがおのひろば」運営（平成27年6月6日、朝日新聞北海道支社）／第12期北海道生涯学習審議会副会長／平成27年度北海道学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業推進委員会会長／札幌市視聴覚センター意見を聞く会委員／北海道札幌藻岩高等学校評議員／札幌市立西岡小学校評議員／NPO法人学校インターネット教育推進協会主催全日本中学高校Webコンテスト審査員

## 張 浦華

＜調査研究報告書＞1.南区にお住まいの65歳以上の方の健康に関するニーズ調査（平成27年4月、pp.1-32）

＜実務関係報告書＞1.第七回清華国際芸術・デザイン学術月間デザインワークショップ報告書（平成27年12月、pp.1-9）

＜作品発表＞1.AUTUMN RAIN BASE（単独、平成27年9月26日～10月2日、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）Tokyo 2015）／2.湧泉（単独、審査付、平成27年10月14日～11月1日、北海道美術協会90周年記念公募展（道展））／3.EGGPLANT DISH（単独、平成27年10月16日～21日、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）Seoul 2015）／（平成27年11月3日～8日、チャリティー陶芸作品展示会）／4.ARGENTATION FISH BOWL（単独、平成27年11月5日～17日、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）Kaoh Siung 2015）／5.DRY LEAF BOWL（単独、平成27年11月14日～21日、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）Cheng Du 2015）／6.湧泉（単独、審査付、平成27年12月1日～13日、第90回道展・第60回釧路移動展）／7.湧泉（単独、審査付、平成28年1月21日～26日、第90回道展・第68回帯広移動展）／8.湧泉（単独、審査付、平成28年2月2日～7日、90周年記念道展 伊達移動展）／9.湧泉（単独、審査付、平成28年2月16日～21日、90周年記念道展・第55回北見移動展）／10.黒マット銀化四角花瓶（単独、平成28年3月1日～6日、第37回北海道陶芸作家協会展）／11.緑マット銀化四角花瓶（単独、平成28年3月1日～6日、第37回北海道陶芸作家協会展）

＜受賞等＞1.佳作賞（平成27年10月、第90回道展（北海道美術協会））

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会（日本感性工学会評議員 第10期（平成27、28年度））／北海道陶芸作家協会（広報・インターネット担当役員）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道陶芸作家協会（平成27年9月～10月、第37回北海道陶芸作家協会展の運営企画）／NPO法人「さっされん」（平成27年9月～11月、心身障害者に対する支援のチャリティー展の運営企画）／アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）（平成27年11月～平成28年3月、2017 冬季アジア札幌大会支援企画ANBD特別コラボレーションポスター展）

## 山田 良

＜作品発表＞1.小樽アートプロジェクト（平成27年7月）／2.ハルカヤマ藝術要塞（平成27年9月）

＜受賞等＞1.日本建築学会 北海道建築賞奨励賞（平成27年10月、日本建築学会）／2.Architectural



Review House 2015（平成27年10月、Architectural Review）

＜学会発表＞1.環境芸術における連続性（単独、平成27年11月、環境芸術学会大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術（2件、環境芸術学会）

＜学会役員就任状況＞環境芸術学会（理事、北海道支部長）／日本建築学会（作品選集委員会委員長）／北海道芸術学会（理事）

＜講演会・講習会活動＞風景と環境芸術／ryo yamada recent works

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞病院建替えにおけるデザインアドバイザー（円山病院）

## 石田 勝也

＜調査研究報告書＞1.「メディアアーツ」の産業での活用及び関連する産業人材の育成に向けた潜在ニーズ発掘型調査研究（共著、平成28年3月、札幌市）

＜学会発表＞1.思春期前の子どもを持つ親を対象とした性教育のためのインストラクショナルデザイン（共同、平成28年2月、感性フォーラム）

＜講演会・講習会活動＞北海道新聞主催親子向けイベントでのプログラミング言語スクラッチワークショップ講師（平成27年10月3日～4日、キッズフォレスト、北海道新聞）／クリエイティブコーディングスクール札幌（平成27年8月）

＜所属学会・研究会＞芸術科学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞サウンドアンドビジュアルイベントの企画運営（パーティカルホリゾンタル実行委員）／イベント映像の制作及びオペレーション（エレキネシス実行委員会）／映像演出ワークショップ（札幌市）／浦河インアートフェス「43d records」イベント内ビジュアルプログラミング（平成27年10月16日、浦河インアートフェス）／エレクトロニカアーティストJimanicaイベント内ビジュアルプログラミング（平成27年11月7日、PROVO）／アークティックデザインウィーク（平成28年2月23～24日、ラップランド大学）

## 大淵 一博

＜学会発表＞1.看護領域における口腔ケアの評価に関するデータベースの構築（共同、平成27年10月、看護理工学会）／2.タブレット型端末を活用した客観的臨床能力試験運営支援システムによる効率的な評価プロセス 第1報（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／3.タブレット型端末を活用した客観的臨床能力試験運営支援システムによる効率的な評価プロセス 第2報（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）

＜研究会発表等＞1.タブレット型端末を活用した看護OSCE運営・評価システムの運用と検証（共同、平成27年11月、SCU産学官研究交流会）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（日本感性工学会北海道支部 幹事：会計担当、委員）

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2016／日本感性工学会北海道支部 学生発表会

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本教育工学会／日本感性工学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞所属メンバーへのソフトウェア利用に関する個別指導等「色彩分析ソフトウェアの活用方法」（平成27年8月28日、札幌イメージコーディネート研究会）／札幌市長グリーンディングカードデザイン審査会「札幌市長グリーンディングカードデザイン審査会」（平成27年11月4日、札幌市国際部）

## 片山 めぐみ

＜著書＞1.人を結び、未来を拓く世代間交流（世代間交流の理論と実践 1）（共著、平成27年4月、あけび書房、9.78487E+12、pp.25-40）

＜調査研究報告書＞1.動物福祉に配慮した動物愛護管理施設のハードとソフトのデザインに関する研究（単著、平成28年3月、札幌市立大学）／2.創成東地区におけるアーバンデザインセンターのあり方と創出方法に関する研究（共著、平成28年3月、札幌市立大学、pp.35-41）／3.三角屋根CB造住宅のストック価値再考と持続可能な居住システムに関する研究（共著、平成28年3月、室蘭工業大学、pp.255-267）

＜学会発表＞1.世代間交流施設のデザイン教育（単独、平成27年10月、日本世代間交流学会第6回全



国大会) / 2.白ゆり美術館プロジェクト“見たことがあるを発見する”作品の制作(共同、平成28年2月、感性フォーラム札幌2016)

＜学会座長就任状況＞1.日本建築学会北海道支部研究発表会(平成27年7月、日本建築学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究(4件、日本デザイン学会) / 2.札幌市立大学紀要(1件、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞日本建築学会(日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会委員) / 人工知能学会(人工知能学会「仕掛学」オーガナイズドセッション組織委員) / 日本建築学会(日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員)

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究発表会

＜講演会・講習会活動＞かれらの思いを世界に発信!? 障害者アートのブランディング企画(2015年9月14日、北海道情報大学) / 人がつながる参加型まちづくり「かみすみらいカフェ」(平成27年6月18日、一般社団法人鹿島青年会議所) / 行政との連携による地域活性プロジェクト「第96回北海道市議会議長会職員研修会」(平成27年7月28日、北海道市議会議長会) / 高齢者と地域とを結ぶ「あつまりたくなる場」のデザイン(平成27年10月27日、歌志内市)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞仕掛けコンテストin天王寺動物園 審査委員(天王寺動物園)

### 小宮 加容子

＜作品発表＞1.授産施設「かたるべの森」木工製品提案(共同、平成27年11月5日～6日、ビジネスEXPO) / 2.きになる!(共同、平成28年3月、キッズワークショップカーニバルinふくしま)

＜受賞等＞1.日本デザイン学会第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞(平成27年6月、日本デザイン学会) / 2.第9回キッズデザイン賞復興支援デザイン部門 遊びのワークショップ「こすってでるでる!もようがいっぱい」(平成27年7月、キッズデザイン協議会) / 3.第9回キッズデザイン賞感性・創造性部門 絵本の世界で頭と体と心を連動させる遊びのワークショップ(平成27年7月、キッズデザイン協議会)

＜学会発表＞1.素材に対する多様な見方を活かした遊び「しゃぼん玉とんだ!」の活動報告ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告(10)ー(共同、平成27年6月、日本デザイン学会第62回研究発表会) / 2.子ども自身による発展を促す遊び「こすってでるでる!もようがいっぱい」の活動報告ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告(9)ー(共同、平成27年6月、日本デザイン学会第62回研究発表会) / 3.子どもの能動的参加を促し、遊び場を構築する道具や手法に関する基礎的研究(共同、平成27年6月、日本デザイン学会第62回研究発表会) / 4.屋外遊びへの発展を促す屋内遊びの試み「こすってでるでる!もようがいっぱい」の活動報告ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告(11)ー(共同、平成27年8月、日本福祉のまちづくり学会第18回全国大会(柏大会))

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究(1件、日本デザイン学会)

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会(春季研究発表大会概要集編集委員会幹事)

＜所属学会・研究会＞ヒューマンインタフェース学会 / 日本科学看護学会 / 日本リハビリテーション工学協会 / 日本機械学会 / 日本福祉のまちづくり学会 / 玩具福祉学会

＜講演会・講習会活動＞0さいからのげいじゅつのもり「ハコ×マチ×あそびlab!」(平成27年12月5日～平成28年4月17日、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)、札幌市立大学) / 文化庁委託事業平成27年度の戦略的芸術文化創造推進事業「すごいぞ!これは」展の関連ワークショップとして実施「「けいとでおえかき」」(平成27年12月20日、文化庁、心揺さぶるアート事業実行委員会、札幌芸術の森美術館) / 北海道アールブリュットフォーラムの関連ワークショップとして実施「「けいとでおえかき」「とうめいおえかき」」(平成28年2月27日、北海道アールブリュットネットワーク協議会、北海道医療大学) / えほんだいすき!inチ・カ・ホ「オリジナル絵本作りワークショップ」(平成28年3月13日、札幌市中央図書館)

### 福田 大年

＜調査研究報告書＞1.札幌市立大学E-KANGO Project 2013&2014 保健師と在宅療養者を対象としたE-KANGOの運用 / 都市部のサービス付き高齢者向け住宅でのE-KANGOの運用(看護・デザインの共同事業)(平成28年3月、札幌市立大学)



＜作品発表＞（平成27年11月、ウォーターフロート）

＜受賞等＞1.第62回日本デザイン学会春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞（平成27年6月、日本デザイン学会）／2.第9回キッズデザイン賞 復興支援デザイン部門（平成27年7月、キッズデザイン協議会）／3.第9回キッズデザイン賞 コミュニケーションデザイン分野 子どもの未来デザイン 感性・創造性部門（平成27年7月、キッズデザイン協議会）／4.ヒューマンインタフェース学会研究会賞（平成28年3月、ヒューマンインタフェース学会）

＜学会発表＞1.子どもの能動的参加を促し、遊び場を構築する道具や手法に関する基礎的研究ーデザイン系大学の資源を活かした遊びのデザイナー（共同、平成27年6月、第62回 日本デザイン学会春季研究発表大会）／2.子ども自身による発展を促す遊び「こすってでるでる！もようがいっぱい」の活動報告ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取組み事例の報告（9）ー（共同、平成27年6月、第62回 日本デザイン学会春季研究発表大会）／3.素材に対する多様な見方を活かした遊び「しゃぼん玉とんだ！」の活動報告ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取組み事例の報告（10）ー（共同、平成27年6月、第62回 日本デザイン学会春季研究発表大会）

＜研究会発表等＞1.多人数の知恵を「浮き彫らせ、紡ぐ」協創型アイデア生成法「クルクルスケッチ」の事例報告（単独、平成27年11月、第127回ヒューマンインタフェース学会研究会ユーザエクスペリエンス・サービスデザインおよび一般（SIG-UXSD-02））

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 第1支部会（日本デザイン学会 第1支部会 平成26・27年度 幹事）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／日本福祉のまちづくり学会／情報文化学会

＜講演会・講習会活動＞ペロタクシーデザイン しま専科「ペロタクシーデザイン しま専科」（平成28年1月23日～2月20日、NPO法人エコ・モビリティサッポロ）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞障がい者就労支援施設で生産販売する商品のブランド力向上に関する支援「看板商品・人気商品を作り出す研修会～手に入れようヒット商品！～」平成28年1月21日、北海道社会就労センター協議会・北海道知的障がい福祉協会）

### 松井 美穂

＜学術論文＞1.オリジナル版『サンクチュアリ』におけるホレス・ベンボウの「黒さ」について（単著、平成28年3月、『北海道アメリカ文学』、32号、pp.78-94）

＜学会シンポジウム＞1.孤児としての南部淑女ーナーシサ再読（単独、平成27年10月、日本ウィリアム・フォークナー協会シンポジウム「フォークナーと家族」）／2.Will Connie Be a Christian? “Where Are You Going, Where Have You Been?”における罪と主体と誘惑という装置（単独、平成27年11月、日本アメリカ文学学会北海道支部シンポジウム「キリスト教の中のアメリカ文学：神の不在と介在」）

＜学会役員就任状況＞日本アメリカ文学学会北海道支部（幹事）／日本アメリカ文学学会（大会運営委員、広報委員）

＜所属学会・研究会＞日本アメリカ文学学会／日本英文学会／日本カナダ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／アメリカ学会

### 松永 康佑

＜作品発表＞1.（平成28年2月、2015 ASIA DIGITAL ART AWARD FUKUOKA）／2.（平成28年3月、南区役所まちなかアート）

＜受賞等＞1.入賞（平成28年2月、2015アジアデジタルアート大賞展実行委員会）

＜学会発表＞1.セルオートマトン法を用いた雪の結晶形状の生成（共同、2015年度日本図学会春季大会、平成27年5月）／2.干渉縞を用いた人の動きに反応する映像表現（共同、2015年度日本図学会春季大会、平成27年5月）／3.北海道における図法幾何教育の現況と未来（共同、2015年度日本図学会春季大会、平成27年5月）

＜学会シンポジウム＞1.さっぽろ雪まつりアーカイブ～VR体験と比較評価～（平成28年2月、感性フォーラム札幌2016）／2.新人看護師の静脈穿刺部位選定のためのプロトタイプ的设计と検討（平成28年2月、感性フォーラム札幌2016）



＜論文査読・学会抄録査読＞adada2015（2件、adada）

### 三谷 篤史

＜学術論文＞1.小児医療施設における「能動アート」プログラムの実践と評価ー「ナースコール・アート」ワークショップの分析（共著、平成27年12月、日本デザイン学会 デザイン学研究、62巻、4号、pp.43-50、pp.2794-2803、pp.2999-3008）

＜学会発表＞1.能動アート「ナースコール・アート」ワークショップの実践と評価ープログラムのデザイン要素と作品の考察（共同、平成27年6月、日本デザイン学会第62回春季大会）／2.口腔ケアシミュレータおよびその手技記録ソフトウェアの開発（共同、平成27年10月、第3回看護理工学会学術集会）／3.操作に反応するメカトロ積木を用いた視覚性記憶訓練ツールの開発（共同、平成27年10月、第3回看護理工学会学術集会）／4.Evaluation of Playing Style with Mechatronics System Embedded Building Blocks（共同、平成27年11月、IASDR2015）／5.Implementation and Evaluation of an 'Active Art' Program in Pediatric Care Facilities:Analysis of Workshops on 'Nurse Call Button Art'（共同、平成27年11月、IASDR2015）／6.能動アート型コミュニケーションツール用モジュールの開発とその制作ワークショップの実施（共同、平成28年3月、第11回日本感性工学会春季大会）

＜研究会発表等＞口腔ケアシミュレータの開発（平成27年11月、SCU産学官連携研究発表会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Proceedings of ROBIO2015（6件、ROBIO2015）

＜学会役員就任状況＞精密工学会（代議員）／精密工学会北海道支部（商議員）／日本機械学会（ロボティクス・メカトロニクス部門第2地区技術委員会委員長）／日本トライボロジー学会（北海道トライボロジー研究会主査）

＜学術集会運営＞精密工学会北海道支部学術講演会／感性フォーラム2016札幌／SI2016／SII2016

＜所属学会・研究会＞日本機械学会／日本ロボット学会／計測自動制御学会／精密工学会／日本デザイン学会／アメリカ電気電子学会（IEEE）／看護理工学会／北海道トライボロジー研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞サッポロ・ロボットコーナーへのロボット展示（通年（年2回入れ替え）、札幌市青少年科学館）／道内関連研究者を対象とした研究会・見学会の実施（2回）（平成27年7月8日、平成28年2月26日、北海道トライボロジー研究会）／環境ひろばへのメカトロ積み木関連の展示（平成27年7月31日～8月2日、環境ひろば）／ACUまなびシェアキッズワークショップ2015への講師としての参加「めざせロボットぎじゅつしゃープログラミングたいけん」（平成27年8月3日、ACU）／地域の専門職、関連分野の学生を対象とした特別講演会の実施「人助けの技術創造」（平成27年9月25日、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門）／地下歩行空間への展示活動・シンポジウム実施運営（平成27年10月25日、Sapporo Design Week）

### 金子 晋也

＜学術論文＞1.近年の住宅建築における立面の資料整理ー「新建築 住宅特集」を資料としてー（共著、平成27年6月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.道内A区在住高齢者の外出困難要因の明確化 第一報（共同、平成27年7月、在宅ケア学会）／2.北海道沿岸部における漁業小屋の調査（共同、平成27年9月、日本建築学会）／3.坂道からみた函館市西部地区の空間構成（共同、平成27年9月、日本建築学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（木造建築構法小委員）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／木の建築フォーラム／在宅ケア学会

### 須之内 元洋

＜調査研究報告書＞1.「メディアアーツ」の産業での活用及び関連する産業人材の育成に向けた潜在ニーズ発掘型調査研究（共著、平成28年3月、札幌市）

＜作品発表＞1.浦河イン アートフェス「43d records」（共同、平成27年10月16日、浦河イン アートフェス）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／情報処理学会／芸術科学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞東日本大震災 写真アーカイブの運用支援（平成27年4月～平



成28年3月、NPOアットマークリアス) / 障害者施設の制作活動に関するデジタルアーカイブ企画・構築支援 (平成27年4月～、みずのき美術館) / 陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイブ構築アドバイス・支援 (平成27年4月～、合同会社森正洋デザイン研究所) / 2017冬季アジア札幌大会公式ホームページ構築支援・運用のアドバイス (平成27年4月～、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会事務局) / 札幌国際芸術祭2014管理運営ログの抽出とアーカイブ化 札幌国際芸術祭ウェブサイトリニューアルのためのプロポーザル募集要項等作成協力 (平成27年7月～10月、札幌市) / Public Art Research Center 5 [PARC5 : Meeting Table] パブリックミーティングのライブ記録・可視化 (平成27年9月5日、9月6日、PROJECTA、札幌駅前通まちづくり株式会社) / アートとリサーチ ワークショップ記録の可視化及びアーカイブ化 (平成28年2月～3月、一般社団法人 AISプランニング) / アートプロジェクト活動のアーカイブ企画・運用支援 (平成28年3月～、NPOアートフル・アクション)

## 看護学部

### 中村 恵子

＜学術論文＞1.フィジカルアセスメント能力を向上させるシミュレーション学習の効果—準実験研究による分析— (共同、平成27年9月、日本救急看護学会誌Vol.17 (2)) / 2.入院患者の転倒リスクアセスメントツールの予測精度—国内データベースを用いた文献検討— (共同、平成28年1月、日本医療・病院管理学会誌Vol.53 (1))

＜学会発表＞1.熟練した救急看護師の語りから捉えた外傷看護実践における看護師の役割 (共同、平成27年6月12日、第29回日本外傷学会) / 2.一般病棟入院患者の転倒予防に向けた看護実践の実態調査 (共同、平成27年8月23日、日本看護研究学会第41回学術集会) / 3.指定インフォメーション・エクスチェンジ3「看護管理者が創成する地域包括ケア (共同、平成27年8月28日、第19回日本看護管理学会学術集会) / 4.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化 (共同、平成27年12月5日、第36回日本看護科学学会学術集会) / 5.Characteristics of Fall Risk Behaviors of Hospitalized Patients in Japanese Hospitals 19th EAFONS (共同、平成28年3月14日、East Asian Forum of Nursing Scholars)

＜研究会発表等＞1.疲弊する看護を救う (単独、平成27年7月、北の療養環境ケア研究会) / 2.地域包括ケア (単独、平成27年7月、NPO)

＜学会座長就任状況＞ワークショップ「重症外傷患者に対するチーム医療の役割」 (平成27年6月12日、第29回日本外傷学会) / 招聘講演「集中治療における専門性とチーム医療」 (平成27年6月28日、第11回日本クリティカルケア看護学会学術集会) / 教育講演「時代を超えた看護の原理を伝えつづける看護学教育」 (平成27年8月18日、日本看護学教育学会第25回学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学教育学会誌 (1件、日本看護学教育学会) / 2.日本臨床救急医学会誌 (1件、日本臨床救急医学会) / 3.日本臨床救急医学会学術集会誌 (10件、日本臨床救急医学会) / 4.日本看護科学学会学術集会誌 (5件、日本看護科学学会) / 5.日本看護管理学会年次大会誌 (6件、日本看護管理学会)

＜学会役員就任状況＞一般社団法人日本救急看護学会 (代表理事) / 一般社団法人日本看護研究学会 (副理事長) / 一般社団法人日本看護学教育学会 (理事) / 一般社団法人日本看護管理学会 (理事) / 一般社団法人日本クリティカルケア看護学会 (社員) / 一般社団法人日本臨床救急医学会 (社員) / 一般社団法人集団災害医学会 (社員) / 公益法人日本看護科学学会 (社員) / 日本災害看護学会 (評議員) / 日本看護診断学会 (評議員) / NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会 (理事) / コーチング研究会 (顧問) / 北のケア環境研究会 (代表)

＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本看護科学学会 / 一般社団法人日本救急看護学会 / 一般社団法人日本看護管理学会 / 一般社団法人日本看護研究学会 / 一般社団法人日本看護教育学会 / 一般社団法人日本クリティカルケア看護学会 / 一般社団法人日本臨床救急医学会 / 一般社団法人日本集団災害医学会 / 日本災害看護学会 / 日本看護診断学会 / 日本看護技術学会 / 日本看護理工学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞救急医療財団研修会講師「トリアージ」 / 日本救急看護学会セミナー講師「救急看護」 / 北海道看護協会ファーストレベル講師「看護管理概説」 / 日本看護協会専門



## 看護師認定委員

### 樋之津 淳子

＜調査研究報告書＞1.外来通院中の関節リウマチ患者における口腔ケアに関する研究（共著、平成27年8月、勇美財団、オンライン）

＜学会発表＞1.使用済み注射針とキャップの取り扱いに関する研究－国内の書籍における横断的検討－（共同、平成27年10月、日本看護技術学会第14回学術集会）／2.臨地実習において患者の個別性に合わせた環境調整技術を教授する活動（共同、平成27年10月、日本看護技術学会第14回学術集会）／3.関節リウマチ患者の疾患活動性で比較した口腔清掃に伴う関節症状及び口腔内の状態（共同、平成27年11月、第30回日本臨床リウマチ学会）／4.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／5.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第1報 模擬患者活動に対する意識の変化～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／6.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報 模擬患者の成長に焦点を当てて～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護技術学会誌（1件、日本看護技術学会）／2.日本看護研究学会雑誌（1件、日本看護研究学会）／3.第35回日本看護科学学会学術集会講演集（5件、日本看護科学学会）／4.看護人間工学研究誌（1件、日本人間工学会）／5.本学紀要（1件）／6.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護技術学会（評議員）／看護理工学会（評議員・監事）

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第26回北海道地方会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本保健医療行動科学学会／日本人間工学会／日本老年泌尿器科学学会／日本泌尿器科学学会／日本がん看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会／日本コンチネンス協会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道専任教員養成講習会の講師「看護論」（平成27年7月28日、北海道保健福祉部）／北海道看護協会継続教育のあり方検討委員会委員「看護論」（平成27年8月4日、北海道看護協会）／研究会の運営委員、意見交換（北のケア環境研究会）

### 山本 勝則

＜学会発表＞1.保護室隔離の際に急性期にある患者から暴力を受けた看護師の思い（共同、平成27年6月、日本精神保健看護学会第24回学術集会・総会）／2.交流セッション22「看護師が行うマッサージ」を教えます（共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第35回日本看護科学学会学術集会（6件、日本看護科学学会）／2.応用心理学会研究（2件、日本応用心理学会）／3.SCJ JOURNAL（1件）

＜学術集会運営＞第83回日本応用心理学会大会長／日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究発表会 講評講師（4演題）（北海道看護協会札幌第一支部）／卒業生対象シャトル研修（2回）（札幌市立大学看護学部）

### 宮崎 みち子

＜学術論文＞1.Laws related to the protection of women's health in Japan（共著、平成27年12月、Medicine and Law、34巻、4号、pp.635-643）

＜学会発表＞1.Support for Survivors of Sexual Assault in Japan（共同、平成27年6月、第25回国際看護師協会4年毎大会）／2.Children's Rightw and Marriage（共同、平成27年8月、第21回世界医事法学会）／3.Laws related to the protect of women's health in Japan（共同、平成27年8月、第21回世界医事法学会）／4.Legal Environment Decision Making for Children Treated for Pediatric Cancer（共同、平成27年8月、第21回世界医事法学会）／5.性暴力被害者支援センター北海道SACRACH－センター開設2.5年間の活動実態－（共同、平成27年8月、第34回日本思春期学会）／6.Fetel Care in Japan-From an Analysis of Relevant Textbooks（共同、平成27年10月、10thInternational Nursing Conference）／7.Thoughts Regarding the Right to Life of the fetus-Based on US Legal Precedent Related to Abortion（共同、平成27年10月、10thInternational Nursing Conference）／8.母性看護



学における看護実践能力を向上させるための教材開発—装着型産褥子宮モデル—（共同、平成27年10月、第56回日本母性衛生学会）

＜学会座長就任状況＞分娩1（平成27年10月、第56回日本母性衛生学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本母性衛生学会誌（3件、日本母性衛生学会）／2.第56回日本母性衛生学会総会・学術集会（5件、日本母性衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本母性衛生学会（代議員）／北海道母性衛生学会（理事）／北海道公衆衛生学会（評議員）／日本母性衛生学会（査読委員）

＜学術集会運営＞第26回日本看護研究学会北海道地方会学術集会実行委員

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本看護研究学会／日本医事法学会／日本看護管理学会／国際看護研究会／世界医事法学会／北海道公衆衛生学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本思春期学会／日本生命倫理学会／北海道母性衛生学会

### 猪股 千代子

＜調査研究報告書＞1.看護白書：管理者教育/研修について（平成27年11月、日本看護協会）

＜学会発表＞1.中小規模病院の看護師長の経験に含まれる倫理的問題とその対応（共同、平成27年6月、日本看護倫理学会第8回年次大会）／2.「職場における仕事と子育ての両立支援体制が母親役割を持つ看護師のワーク・ファミリー・コンフリクトに及ぼす影響」（共同、平成27年8月、第19回日本看護管理学会学術集会）／3.全人的統合医療のケアの特徴（単独、平成27年10月、第17IMJ北海道支部会）

＜学会シンポジウム＞1.健康長寿者社会を実現する統合医療とポジティブ看護—生命力を高める七感に働きかける未来看護の潮流（平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.健康長寿者社会を実現する統合医療とポジティブ看護（平成27年11月、SCU産学官研究交流会）

＜学会座長就任状況＞組織運営・組織分析4（平成27年8月、第19回日本看護管理学会学術集会）／始めませんか、術前外来—多職種で実践する手術患者のリスク回避（平成27年10月、日本医療マネジメント学会第15回北海道支部学術集会）／中堅看護師育成の工夫や課題（平成27年10月、日本看護管理学会）／元気・笑顔をもたらす癒しのケア・心のケアを普及しましょう（平成27年12月、第19回日本統合医療学会山口大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本統合医療学会誌（4件、日本統合医療学会）／2.日本看護管理学会（1件、日本看護管理学会）／3.日本医療マネジメント学会誌（4件、日本医療マネジメント学会第15回北海道支部学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本統合医療学会（日本統合医療学会理事）／日本医療マネジメント学会（日本医療マネジメント学会評議委員）／日本看護管理学会（日本看護管理学会評議委員）／日本統合医療学会北海道支部（日本統合医療学会北海道支部評議委員）／日本統合医療学会看護部会北海道地区研究会（日本統合医療学会看護部会北海道地区研究会会長）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞オーダーメイド医療の紹介—潔く・しなやかに・優雅に生きるセルフヘルスケア（全国パーキンソン病友の会富山県支部）

### 小田 和美

＜学術論文＞1.「看護の教育的関わりモデル」を用いたアクションリサーチ（共著、平成27年12月、日本看護科学学会誌、35巻、pp.235-246）

＜学会発表＞1.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化（共同、平成27年12月、日本看護科学学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞セッション04「患者・家族の行動科学」（平成27年6月、日本保健医療行動科学学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞札幌市立大学研究論文集（平成27年11月、2件）

＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学学会（指名理事）／日本糖尿病教育・看護学会（評議員）／日本循環器看護学会（査読委員）

＜所属学会・研究会＞日本糖尿病教育・看護学会／日本看護科学学会／患者教育研究会／日本保健医療行動科学学会／日本糖尿病・妊娠学会／日本糖尿病学会／日本看護研究学会／日本循環器看護学会／日本



がん看護学会／千葉看護学会／日本看護学教育学会／日本心身医学会  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>看護研究の指導（手稲溪仁会病院）

### 河原田 まり子

<学術論文>1.首尾一貫感を改善する介入方法に関する文献的考察（共著、平成27年6月、札幌市立大学研究論文集、9巻、1号、pp.15-23）／2.2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めると認識している支援内容の検討（共著、平成27年9月、日本糖尿病教育・看護学会誌、19巻、2号、pp.157-165）

<調査研究報告書>1.市民参加型のSCU模擬患者養成プログラムの開発（共著、平成27年8月、札幌市立大学COC研究企画推進チーム、pp.7-13）

<解説文>1.第18回産業医・産業看護・産業衛生技術・産業歯科保健合同研修会報告（単著、平成27年8月、北方産業衛生、52号、pp.11-11）

<学会発表>1.看護師教育において強化すべき地域看護学の教育内容（共同、平成27年8月、日本地域看護学会第18回学術集会）／2.Support pf the Elderly in Urban Communities and Support-Related Issues（共同、平成27年8月、6th ICCHNR）／3.Necessity of Community Haelth Nursing Program in Nursing Education as Perceived by Nursing Teachers in Japan（共同、平成27年8月、6th ICCHNR）／4.地域保健活動に活用できるソーシャルキャピタル測定尺度開発のための予備調査（共同、平成27年10月、第74回日本公衆衛生学会）／5.市民参画型模擬患者養成プログラムの開発と評価～第1報模擬患者活動に対する意識の変化（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／6.市民参画型模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報模擬患者の成長に焦点を当てて（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／7.地域保健分野で活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度の開発（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／8.ソーシャル・キャピタルを醸成する保健師活動の特徴（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／9.都市部に居住する高齢者の健康及び生活状況とソーシャル・キャピタルとの関連（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／10.都市部に居住する高齢者のうつ状態に関連する要因（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／11.後期高齢者の社会活動の実践に関連する要因（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／12.Developing an Education Program to Enhance Sence of Coherence in Patients with Diabetes Mellities Type2（共同、平成28年2月、19th EAFONS）

<研究会発表等>1.市民参画型模擬患者養成プログラムの開発と評価～第1報（共同、平成27年11月、SCU産学官研究交流会実行委員会）／2.市民参画型模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報（共同、平成27年11月、SCU産学官研究交流会実行委員会）

<学会座長就任状況>地域高齢者の健康課題とレジリエンス（単独、平成27年8月、日本地域看護学会）／地域づくり②（単独、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）

<論文査読・学会抄録査読>1.日本産業衛生学会誌（2件、日本産業衛生学会）／2.日本地域看護学会誌（1件、日本地域看護学会）

<学会役員就任状況>日本産業看護学会（日本産業看護学会評議員）／看護総合科学研究会（看護総合科学研究会監事）／日本産業衛生学会地方会（日本産業衛生学会地方会理事（研修委員長））／日本産業衛生学会（日本産業衛生学会代議員）／北海道公衆衛生学会（北海道公衆衛生学会常任理事）／日本公衆衛生看護学会（日本公衆衛生看護学会評議員）／日本看護科学学会（日本看護科学学会代議員）／日本地域看護学会（日本地域看護学会代議員）

<学術集会運営>第68回北海道公衆衛生学会学術集会学会長（平成28年10月開催）

<専門職者・企業・展覧会等への支援>産業保健相談員（北海道産業保健推進センター）

### 川村 三希子

<学術論文>1.緩和ケア認定看護師の捉えるスピリチュアリティ（共著、平成27年6月、死の臨床、38巻、1号、pp.184-189）／2.学生をひきつける講義の工夫②教材の使い方（単著、平成28年1月、がん看護、21巻、1号、pp.50-53）

<著書>1.事例で理解する最新緩和ケア（共著、平成27年6月、看護の科学社、978-4-87804-089-4、pp.2-12）

<調査研究報告書>1.公益財団法人勇美記念財団 在宅看取りをテーマにした市民のつどい（平成27年



7月、勇美財団) / 2. 公益財団法人勇美記念財団 その人らしい平穏な看取りを叶えるために 基礎編：意向を聞くコミュニケーションスキル (平成27年9月、勇美財団)

＜学会発表＞1. Providing and sharing information and consultation for cancer care on city streets (共同、平成27年5月、14th World congress of the European association for palliative care) / 2. がん診療拠点病院未整備の二次医療圏内に住むがん患者家族の医療に対するニーズ (共同、平成27年6月、第20回日本緩和医療学会) / 3. 広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 4. 積雪寒冷地の地域高齢者のQuality of life (EuroQOL効用値) の実態 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 5. 在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 6. 地域在住高齢者の生活実態 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 7. 意思決定をすることが困難ながん患者の家族の治療選択におけるプロセス (共同、平成28年2月、第30回日本がん看護学会)

＜学会シンポジウム＞1. 看護ケアの最新エビデンス (単独、平成27年6月、第20回日本緩和医療学会)

＜学会招聘講演＞1. 死を見据えつつ今を生き抜く患者の強さに学ぶ (単独、平成27年9月、第15回日本音楽療法学会)

＜研究会発表等＞1. 認知症を伴うがん患者の入院判定の実態と看護管理上の困難

＜学会座長就任状況＞教育講演：治療期における症状マネジメント～エキスパートの力を活かす～ (日本がん看護学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本がん看護学会誌 (2件) / 2. 日本緩和医療学会 (10件) / 3. 日本緩和医療学会 (1件)

＜学会役員就任状況＞NPO法人日本緩和医療学会 (代議員・査読委員・ELNEC-JWPG、看護職セミナーWPG) / NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会 (理事・教育委員) / NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部 (役員) / NPO法人日本がん看護学会 (評議員) / 札幌ホスピス緩和ケアネットワーク (副代表) / 日本看護科学学会 (査読委員)

＜学術集会運営＞日本死の臨床研究会 / 日本サイコオンコロジー学会

＜所属学会・研究会＞日本がん看護学会 / 日本看護科学学会 / 日本緩和医療学会 / 日本死の臨床研究会 / 日本臨床死生学会 / European Association for palliative care

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ELNEC-J高齢者プログラム研修会 (平成27年8月1日～2日、北海道看護協会) / エンドオブライフを支えるコミュニケーションbasic (平成27年8月22日、札幌ホスピス緩和ケアネットワーク) / ELNEC-J研修会 (平成27年8月25日～26日、北海道看護協会) / ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成研修 (平成27年9月4日～6日、日本緩和医療学会) / ELNEC-J指導者フォローアップ研修 (平成27年9月17日、日本緩和医療学会) / がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 (平成28年2月13日、KKR札幌医療センター)

## 定廣 和香子

＜著書＞1. 看護実践・教育のための測定用具ファイル 第3版 (共著、平成27年10月、医学書院、978-4-260-02165-4、pp.54-63) / 2. 院内教育プログラムの立案・実施・評価 第2版 (共著、平成27年12月、医学書院、978-4-260-02395-5、pp.227-244)

＜学会発表＞1. 看護師個人が看護の質を維持するための手段 (共同、平成27年10月、日本看護技術学会 第14回学術集会) / 2. 女性看護師の飲酒行動と自己コントロールの実際－北海道内の病院に勤務する看護師に焦点を当てて－ (共同、平成27年10月、日本看護技術学会 第14回学術集会) / 3. Quality of Nursing Faculty Activities for Prevention Nursing Students' Medical Accident and Association to Their Attributes in Japan (共同、平成27年11月、Sigma theta tau international 43rd Biennial Convention) / 4. 医療事故の当事者となった新人看護師の経験 (共同、平成27年11月、医療の質と安全学会) / 5. 「実習安全のための教授活動自己評価尺度－看護学教員用－ (試行版)」の作成 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会) / 6. 精神科看護師の疼痛アセスメント能力と個人特性との関係 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会) / 7. 病院に再就職した看護職者が就職後に直面する問題 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本看護科学学会 学術集会 (4件、平成27年6月) / 2. 札幌市立大学紀要 (1件、平成27年12月) / 3. 日本看護学教育学会 第26回学術集会 (4件、平成28年3月)

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会 (評議員) / 日本看護教育学会 (看保連 診療報酬のあ



り方検討会委員)

＜学術集会運営＞日本看護教育学学会

＜所属学会・研究会＞日本看護教育学学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／医療の質と安全学会／sigma theta tau international honor society of nursing

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実習指導者研修会「臨床指導者研修Ⅰ」（平成27年5月11日、市立札幌病院）／実習指導者研修会「看護教育論」（平成27年6月29日～30日、秋田県）／専任教員養成講習会「看護論」（平成27年7月13日・27日、北海道）／FD研修会講師「統合カリキュラム編成の実際」（平成27年12月25日、旭川医科大学）

### スーディ神崎 和代

＜学術論文＞1.在宅死を可能にするための在宅ケア基盤づくりの方略（共著、平成27年5月、地域ケアリング、17巻、6号、pp.42-47）／2.異分野連携・融合による超高齢社会支援（CDROM）（単著、平成27年9月、日本機械学会学術集会誌、15巻、1号、pp.1-5）／3.Allowing people to be cared at home（単著、平成27年11月、Finland&Hokudai joint symposium集、pp.48-48）／4.オンラインアンケートを用いた回答者の理解度向上を通じた製品設計手法（共著、平成28年2月、日本感性工学論文誌、pp.1-7）／5.札幌市南区における高齢者の住まいのアプローチ空間の構成（共著、平成28年3月、札幌市立大学紀要）

＜著書＞1.医療事前指示書：私への医療・私の終末期はこうしてほしい（編著及び共著、平成28年2月、ナカニシヤ出版、9.78478E+12、pp.1-93）

＜調査研究報告書＞1.E-KURASHIとロボット実験（共著、平成27年4月、札幌市立大学、pp.1-19）／2.COC共同研究 札幌市南区における高齢者の外出困難要因の明確化（共著、平成27年7月、札幌市立大学、pp.1-8）／3.地域住民を交えたデザイン・看護合同シュミレーション教育の基礎的研究（共著、平成28年3月、札幌市立大学、pp.1-27）／4.保健師と在宅療養者を対象にしたE-KANGOの運用/都市部のサービス付き高齢者住宅でのE-KANGOの運用（共著、平成28年3月、札幌市立大学、pp.1-59）／5.COC事業 研究企画推進班（共著、平成28年3月、札幌市立大学COC）

＜その他の論文＞1.あなたの意思と願を叶える医療事前指示書（単著、平成27年6月、BEST NURSE、26巻、6号、pp.32-33）

＜実務関係報告書＞1.ウエルネス x 協奏型地域社会の担い手育成事業報告書（平成28年3月、札幌市立大学）

＜解説文＞1.魂の引っ越し：医療事前指示書とは（単著、平成27年10月、新陽会、pp.11-11）

＜学会発表＞1.北海道の老人福祉施設における腎臓管理を必要とする高齢者の受け入れ実態（共同、平成27年5月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.ICT use as adelaying tool for elderly patients with mild dementia（単独、平成27年6月、KUOPIO Alzheimr Symposium Finaland）／3.意思決定を支援する医療事前指示書：フォーカスグループによる検証（共同、平成27年7月、日本在宅ケア学会）／4.道内A区在住高齢者の外出困難要因の明確化（共同、平成27年7月、日本在宅ケア学会）／5.高齢社会に果たす感性工学の役割：高齢社会とICT（単独、平成27年9月、日本機械学会）／6.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／7.看護系大学での看護基礎教育課程における国際看護科目の課題（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／8.積雪寒冷地の地域在住高齢者のQOL（EurQOL効用値）の実態（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／9.在宅高齢者の外出困難の状況とQOLの関連（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／10.地域在住高齢者の生活の実態（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／11.市民を交えたシュミレーション授業の効果計測手法の検討（共同、平成28年3月、日本感性工学学会春季大会）／12.sustainability week:北海道大学/Finland"北極地域における人の暮らし"（単独、Sustainability Week）

＜学会シンポジウム＞1.北海道大学/Finland"北極地域における人の暮らし"のシンポジスト（単独、平成27年11月、Sustainability Week Symposium）

＜学会招聘講演＞1.看護の日 基調講演（単独、平成27年5月、北海道看護協会）

＜研究会発表等＞1.道内A区在住高齢者の外出困難要因の明確化（共同、産学官連携研究発表会）／2.意思決定を支援する医療事前指示書：フォーカスグループによる検証（共同、産学官連携研究発表会）



＜学会座長就任状況＞看護分科会：地域と共に生きる、創造する看護の在り方（平成27年10月、全国自治体病院学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第22回（2017年）日本在宅ケア学会

＜所属学会・研究会＞日本在宅ケア学会／日本遠隔医療学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／日本看護管理学会／日本ルーラルナーシング学会／北海道ホームヘルス研究会（3HR）／北のケア環境研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞介護における高齢者のICT利活について（平成27年6月3日、新陽パソコン倶楽部）／終末期医療について講演（平成27年6月24日、北海道医療福祉産業研究会）／20周年記念講演（平成27年9月11日、市立札幌病院やさしさGENTLE）／認知症の基本的理解（平成27年10月16日、北成病院）／地域包括ケアシステムの背景と意図の理解のもとに看護師職者はどうつながる（平成27年10月24日、北海道看護協会空知支部）／介護・福祉分野における将来課題と工学分野が取り組むべき技術課題（平成27年11月9日、本田技術研究所）／オープン講演：変遷する社会の中で看護倫理の原点に立つ（平成28年2月27日、市立札幌病院企画）／意思決定を尊重した人生の最終段階への支援（平成28年3月5日、公益財団法人：社会福祉会）／極寒の夜のマーシャラ（平成28年3月13日、社会的健康と地域づくりを支える研究会）／貴方の意思と願を叶える医療事前指示書（平成28年3月23日、北白石区民生委員・児童委員協議会）／訪問看護養成講座（北海道看護協会）／運営委員（北のケア環境研究会）／ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員（札幌医科大学）

## 松浦 和代

＜学術論文＞1.Evaluation of Playing Style with Mechatronics System Embedded Building Blocks（共著、平成27年11月、IASDR2015 Proceedings、pp.1-9）

＜その他の論文＞1.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第1回）札幌市立大学が企画した卒業生へのアサーティブ研修（共著、平成27年9月、医学書院、25巻、9号、pp.826-830）／2.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第2回）ノン・アサーティブタイプ教材「オロオロの巻」（共著、平成27年10月、医学書院、25巻、10号、pp.938-941）／3.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第3回）ノン・アサーティブタイプ教材「ドッカン」の巻」（共著、平成27年11月、医学書院、25巻、11号、pp.1050-1053）／4.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第4回）ノン・アサーティブタイプ教材「ネッチー」の巻」（共著、平成27年12月、医学書院、25巻、12号、pp.1144-1147）／5.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第5回）”What’sチームワーク”シリーズ教材（1）「新人VS新人の巻」（共著、平成28年1月、医学書院、26巻、1号、pp.94-97）／6.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第6回）”What’sチームワーク”シリーズ教材（2）「新人フォローの巻」（共著、平成28年2月、医学書院、26巻、2号、pp.200-204）／7.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第7回）”What’sチームワーク”シリーズ教材（3）「新人VS2年目看護師の巻」（共著、平成28年3月、医学書院、26巻、3号、pp.304-308）

＜実務関係書＞1.モンゴル語版DDH予防ポケットマニュアル（共著、平成27年12月、モンゴル国立母子保健センター）

＜実務関係報告書＞1.JICA草の根技術協力事業（モンゴル国）先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導（共著、平成28年3月、札幌市立大学看護学部）

＜学会発表＞1.NICU入院児の父親の親性に対するNICUエキスパート看護師のアセスメントと看護（共同、平成27年7月、日本小児看護学会第25回学術集会）／2.小児看護学実習における看護実践能力習得の実態と課題（共同、平成27年7月、日本小児看護学会第25回学術集会）／3.大学主催による新卒看護師のための社会化支援の評価（第1報）卒業前スキルアップトレーニングについて（共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会）／4.大学主催による新卒看護師のための社会化支援の評価（第2報）シャトル研修について（共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会）／5.特別支援学校における医療的ケアの実践に対する保護者のニーズ-教員へのニーズに諸点を当てて-（共同、平成27年8月、日本育療学会第19回学術集会）／6.北海道内小学校の保健授業における医教連携ニーズ（共同、平成27年10月、第50回北海道学校保健学会）／7.北海道内中学校の保健授業にお



ける医教連携ニーズ（共同、平成27年10月、第50回北海道学校保健学会）／8.操作に反応するメカトロ積木を用いた視覚性記憶訓練ツールの開発（共同、平成27年10月、第3回看護理工学会学術集会）／9.Evaluation of Playing Style with Mechatronics System Embedded Building Blocks（共同、平成27年11月、IASDR 2015 Congress）

＜研究会発表等＞1.病院木質化座談会（単独、平成28年2月、道産針葉樹を活用した新規製品開発検討委員会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児看護学会講演集（5件、日本小児看護学会第25回学術集会）／2.日本看護学教育学会講演集（5件、日本看護科学学会）／3.日本小児看護学会誌（1件、日本小児看護学会第25回学術集会）／4.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（公益社団法人日本看護科学学会社員（北海道地区））／北海道小児保健研究会（北海道小児保健研究会幹事）／北海道学校保健学会（北海道学校保健学会評議員）／北海道成育看護研究会（北海道成育看護研究会理事）／全国病弱教育研究会（全国病弱教育研究会地域担当世話人（東日本ブロック北海道））

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第26回北海道地方学術集会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本看護教育学会／日本看護科学学会／日本学校保健学会／日本小児保健協会

＜講演会・講習会活動＞ACUまなびシェアキッズワークショップ2015 講義・ワークショップ「小児看護師の仕事にチャレンジ！」（平成27年8月3日、ACU）／思春期保健講演会「10代を生きるみなさんへのメッセージ～見つめよう心と体、そして性～」（平成27年11月9日、帯広大谷高校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実地指導者研修「新人看護師の学習支援」（平成27年6月2日・11日、札幌医科大学附属病院）／病室用木質インフィルモニタリング調査・展示会「病室用木質インフィルモニタリング調査・内覧会」（平成28年2月2日～2月28日、渡島地域病室木質化検討委員会）

## 上村 浩太

＜実務関係報告書＞1.COCウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成学び舎事業 平成27年度成果報告書（共著、平成28年3月、札幌市立大学、pp.22-25）

＜学会発表＞1.小児看護学実習における看護実践能力習得の実態と課題（共同、平成27年7月、第25回日本小児看護学会）／2.市民参画型の模擬患者養成プログラム開発と評価～第1報 模擬患者活動に対する意識の変化（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／3.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報 模擬患者の成長に焦点を当てて～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）

＜研究会発表等＞1.小児医療における食事制限～小児がんの子どもと家族に焦点を当てて～（平成27年7月、食品加工研究センター 視察研究交流会）／2.市民参画型の模擬患者養成プログラム開発と評価～第1報 模擬患者活動に対する意識の変化（平成27年11月、道総研研究交流会）／3.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報 模擬患者の成長に焦点を当てて～（平成27年11月、道総研研究交流会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本小児看護学会／日本小児がん看護学会／日本小児保健学会／日本学校保健学会／北海道成育看護研究会

＜講演会・講習会活動＞ACUまなびシェア キッズワークショップ2015「小児看護師の仕事にチャレンジ！」（平成27年8月3日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞病児・病後児保育の基礎A・B（平成27年6月16日、恵庭市緊急サポートネットワーク）／病児の身体的・心理的苦痛とその援助方法（平成27年7月24日、江別市緊急サポートネットワーク）／病児支援の基礎知識（平成27年10月30日、千歳市緊急サポートネットワーク）

## 大野 夏代

＜その他の論文＞1.マッサージによるリスクを最小化する試み（共著、平成27年4月、日本看護技術学会誌、14巻、1号、pp.46-48）／2.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修 教材の作成と学習展開1「札幌市立大学が企画した卒業生へのアサーティブ研修」（共著、平成27年9月、医学



書院看護管理、25巻、9号、pp.826-830) / 3.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修教材の作成と学習展開 2 「ノン・アサーティブ教材①オロオロの巻」 (共著、平成27年10月、医学書院看護管理、25巻、10号、pp.938-941) / 4.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修教材の作成と学習展開 3 「ノン・アサーティブ教材②ドッカン」 (共著、平成27年11月、医学書院看護管理、25巻、11号、pp.1050-1053) / 5.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修教材の作成と学習展開 4 「ノン・アサーティブ教材③ネッチー」 (共著、平成27年12月、医学書院看護管理、25巻、12号、pp.1144-1147) / 6.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修教材の作成と学習展開 5 「What's チームワーク? ①新人VS新人の巻」 (共著、平成28年1月、医学書院看護管理、26巻、1号、pp.94-97) / 7.仰臥位による足浴の同一体位がもたらす身体負荷に対する主観と生理反応 (共著、平成28年1月、日本看護技術学会誌、15巻、1号、pp.64-73) / 8.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修教材の作成と学習展開 6 「What's チームワーク? ②新人フォローの巻」 (共著、平成28年2月、医学書院看護管理、26巻、2号、pp.200-203) / 9.新人看護師の組織社会化を目指す アサーティブ研修教材の作成と学習展開 7 「What's チームワーク? ③新人VS2年目看護師の巻」 (共著、平成28年3月、医学書院看護管理、26巻、3号、pp.304-308)

＜実践報告書＞1.第35回日本看護科学学会学術集会：「未来看護」への展望を交流 (単著、平成28年1月、日本統合医療学会会報、21号、pp.4-4)

＜学会発表＞1.看護系大学における海外交流研修事業の課題一引率教員の役割や資質について (共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会) / 2.「看護師が行うマッサージ」を教えます (共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会) / 3.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価 (第1報) 卒業前スキルアップトレーニングについて (共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会) / 4.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価 (第2報) シャトル研修について (共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会) / 5.臨地実習において患者の個別性に合わせた環境調整技術を教授する活動 (共同、平成27年10月、日本看護技術学会第14回学術集会) / 6.健康長寿社会を実現する統合医療とポジティブ看護ー自然治癒力を惹起させる七感に働きかける未来看護の潮流 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.国際看護研究会第18回学術集会抄録 (5件、国際看護研究会第18回学術集会) / 2.札幌保健医療大学紀要第2巻 (1件)

＜学会役員就任状況＞国際看護研究会 (運営委員)

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第26回北海道地方学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 国際看護研究会 / 日本看護学教育学会 / 国際看護交流協会 / 日本国際保健医療学会 / 日本渡航医学会 / 日本人間工学会 / 日本人間工学会看護人間工学部会 / 看護における指圧マッサージ研究会

＜講演会・講習会活動＞医療通訳ボランティア養成研修2015「感染症に関する基礎知識」 (平成27年7月26日、特定非営利活動法人エスニコ)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新入職看護職員の面談 (平成27年7月1日・7月10日、IMSグループ) / 勤医協札幌病院看護研究指導 (大学・病院 連携プロジェクト)

## 貝谷 敏子

＜学術論文＞1. Cost-utility analysis of an advanced pressure ulcer management protocol followed by trained wound, ostomy, and continence nurses. (単著、平成27年10月、Wound Repair Regen.、23巻、6号、pp.915-921)

＜その他の論文＞1. WOCナーシング 褥瘡患者のQOL向上を目指したドレッシング材の選択 (単著、平成27年10月、医学出版、3巻、10号、pp.84-90)

＜学会発表＞1. 褥瘡患者における日本語版EuroQolの信頼性と妥当性の検討 (共同、平成27年8月、日本褥瘡学会) / 2. Freiburg Life Quality Assessment-wound module (FLQA-w) 日本語版の信頼性・妥当性の検討 (共同、平成27年8月、日本褥瘡学会) / 3. 広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 4. 積雪寒冷地の地域高齢者のQuality of life (EuroQOL効用値) の実態 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 5. 在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 6. 地域在住高齢者の生活実態 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会) / 7. 市民参画型の模擬患者養成プログラムの開



発と評価～第1報 模擬患者活動に対する意識の変化～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／8.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報 模擬患者の成長に焦点を当てて～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）

＜研究会発表等＞1.リソースナースの地域活用によるシームレスな連携体制の構築と効果の検証（平成27年11月、産学官連携発表会）

＜学会座長就任状況＞保存的治療（平成27年8月、日本褥瘡学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護理工学学会誌（1件、看護理工学学会）／2.天使大学紀要（1件、天使大学）／3.日本創傷オストミー失禁管理学会誌（1件、日本創傷オストミー失禁管理学会）／4.札幌市立大学紀要（1件、札幌市立大学）／5.第25回日本創傷オストミー失禁管理学会（6件、日本創傷オストミー失禁管理学会）

＜学会役員就任状況＞日本褥瘡学会（評議員）／日本創傷オストミー失禁管理学会（庶務）／看護理工学学会（編集委員）

＜学術集会運営＞第25回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会プログラム委員

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究 基調講演（市立札幌病院）／東京大学大学院医学系研究科アドバンストナーシングテクノロジー 講演（東京大学病院）

### 菊地 ひろみ

＜学会発表＞1.人の居場所を探る対話型手法「居場所曼荼羅」の構築－第1報－構築プロセスと第1版（共同、平成27年8月、第41回日本看護研究学会学術集会）／2.人の居場所を探る対話型手法「居場所曼荼羅」の開発－第2報－療養環境における利用の可能性（共同、平成27年8月、第41回日本看護研究学会学術集会）／3.在宅神経難病療養者の療養継続に対する療養通所介護の役割－SEIQol-DWによる検討（単独、平成27年11月、第5回日本在宅看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞広い！寒い！遠い！北の在宅医療を支えるプロフェッショナル（平成27年10月、第21回全国の集いin北海道）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第21回全国の集いin北海道／第68回北海道公衆衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本プライマリケア学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会／日本遠隔医療学会／日本看護研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（札幌厚生病院）／訪問看護スキルアップ講座（訪問看護師）

### 清水 光子

＜学会発表＞1.Support of the Elderly in Urban Communities and Support-Related Issues（共同、平成27年8月、ICCHNR Confence）／2.OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究 第一報（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／3.OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究 第二報（共同、平成27年12月、日本看護科学学会）／4.都市部に居住する高齢者の健康及び生活状況とソーシャル・キャピタルとの関連（共同、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）／5.都市部に居住する高齢者のうつ状態に関する要因（共同、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）／6.後期高齢者の社会活動の実践に関する要因（共同、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜学会座長就任状況＞一般演題（示説）p6群 高齢者保健①（平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCU JOURNAL（1件）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（北海道公衆衛生学会評議員）

＜学術集会運営＞北海道公衆衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／看護総合科学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞支部職能委員長会議（平成27年7月3日、北海道看護協会保健師職能委員）／保健師職能集会（2015年7月4日、北海道看護協会保健師職能委員）／北海道ブロック



研修会「公衆衛生看護学実習と人材育成について」（平成27年9月12日、全国保健師長会）／北海道保健師関係団体連絡会研修会「保健師基礎教育と現任教育の関わり」（平成27年12月19日、北海道保健師関係団体連絡会）／保健師国家試験の出題内容に関する調査への協力（平成28年2月19日、全国保健師教育機関協議会）

### 菅原 美樹

＜学術論文＞1.フィジカルアセスメント能力を向上させるシミュレーション学習の効果 準実験研究による分析（共著、平成27年8月、日本救急看護学会雑誌、17巻、2号、pp.45-55）  
 ＜著書＞1.疾患別看護過程（共著、平成27年9月、学研メディカル秀潤社、9.78478E+12）  
 ＜その他の論文＞1.患者さんの全体像がみえる疾患別看護過程（第9回）無症候性心筋虚血 冠動脈バイパス術を受ける事例（共著、平成27年11月、学研メディカル秀潤社、3巻、2号、pp.53-86）  
 ＜学会発表＞1.重症外傷患者に対するチーム医療の役割 熟練した救急看護師の語りから捉えた外傷看護実践における看護師の役割（共同、平成27年5月、第29回日本外傷学会総会・学術集会）／2.看護におけるフィジカルアセスメント能力を評価するOSCE評価表の一致率の検証（共同、平成28年3月、第43回日本集中治療医学会学術集会）  
 ＜学会座長就任状況＞患者の思いと体験（平成27年6月、日本クリティカルケア看護学会）／これからの国際感染症に備える（平成27年6月、日本救急看護学会）  
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本救急看護学会雑誌第17巻2号（1件、日本救急看護学会）／2.日本クリティカルケア看護学会誌第11巻2号（5件、日本クリティカルケア看護学会）／3.日本救急看護学会雑誌第17巻3号（5件、日本救急看護学会）／4.日本クリティカルケア看護学会誌第12巻1号（1件、日本クリティカルケア看護学会）／5.SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING（1件、札幌市立大学）  
 ＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会（理事）／日本クリティカルケア看護学会（将来構想検討委員）／日本循環器看護学会（専任査読委員）／北のケア環境研究会（北のケア環境研究会運営委員）／看護系学会等社会保険連合（社員）  
 ＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本臨床救急医学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会／日本看護管理学会  
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞トリアージナース育成研修会の運営支援（日本救急看護学会）／基礎病態セミナーの運営支援（日本救急看護学会）／『シミュレーション教育とOSCEによる看護実践力評価』（Nursing SUN in Tokyo）

### 古都 昌子

＜学術論文＞1.実習施設と教育施設との連携に向けての具体的方策（共著、平成27年6月、札幌市立大学研究論文集、第9巻、1号、pp.25-30）  
 ＜著書＞1.看護学生のなぜ？どうして？看護の統合と実践10（共著、平成27年5月、MEDICMEDIA、978-4-89632-578-2）  
 ＜実務関係書＞1.看護師国家試験問題集Select必修2016（平成27年4月、MEDICMEDIA）／2.看護師・看護学生のためのレビューブック2017（平成28年3月、MEDICMEDIA）  
 ＜解説文＞1.クエスチョンバンク看護師国家試験問題解説2016（平成27年4月、MEDICMEDIA）  
 ＜学会発表＞1.看護基礎教育の臨床実習における物理的環境の現状と課題（第1報）（共同、平成27年8月、日本看護管理学会）／2.看護基礎教育の臨床実習における物理的環境の現状と課題（第2報）（共同、平成27年8月、日本看護管理学会）／3.交流集会 学生の臨床実習と看護師のキャリア形成プレゼンテーション（共同、平成27年8月、日本看護学教育学会）／4.臨地実習において患者の個別性に合わせた環境調整技術を教授する活動（共同、平成27年10月、日本看護技術学会）／5.看護学実習において学生が指導を獲得する要因（共同、平成27年10月、日本看護技術学会）／6.看護学の学士課程修了時の学生が語る「看護職としての『私』」－脳卒中リハビリテーション認定看護師を目指す木村さん（仮名）の語りから－（単独、平成27年10月、東京女子医科大学看護学会）／7.看護学の学士課程修了時の学生が語る「看護職としての『私』」－助産師になる今井さん（仮名）の語りから－（単独、平成27年10月、東京女子医科大学看護学会）／8.看護学の学士課程修了時の学生が語る「看護職としての『私』」看護師となる直前の学生の語りから（単独、平成27年12月、日本看護科学学会）／9.看



護学生のコミュニケーションに対する困難感と変化要因（単独、平成28年3月、日本医学看護学教育学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.北海道看護教育施設協議会誌（1件）／2.SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞北海道看護教育施設協議会（監事）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護管理学会／日本医学看護学教育学会／日本医療マネジメント学会／東京女子医科大学看護学会／日本看護技術学会／日本看護倫理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専任教員養成講習会研究方法演習 講師（北海道保健福祉部）／中堅看護師の現状と課題ミニレクチャー（看護コンソーシアム）／実習指導者研修会講師「臨地実習における事故防止と医療安全教育」（札幌保健医療大学）／リーダーⅠ、卒2年、リーダーⅢ、プリセプター研修、倫理講義（計5回）（北海道社会事業協会帯広病院）／中堅看護師育成のための研修講師（苫小牧市立病院）／倫理審査委員、アドバイザー（北海道看護教育施設協議会）

## 村松 真澄

＜学術論文＞1.Changes in Nursing Self-Rated Basic Social Skills Attitudes of Newly Graduated and Basic Nurses（共著、平成27年6月、Worldwide Nursing WNC2015、pp.81-85）／2.【認知症ケアのスキルアップを目指して】認知症の人への口腔ケアのスキルアップ（単著、平成27年9月、認知症ジャーナル、8巻、2号、pp.126-134）／3.北海道の病院における周術期口腔機能管理に関する看護管理者への実態調査（共著、平成28年3月、日本口腔ケア学会誌、10巻、1号、pp.83-88）

＜著書＞1.多職種共働チーム先制医療での口腔ケアQ&A.50（共著、平成28年1月、一世出版社、9.78487E+12、pp.108-111）

＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯に居住する高齢者の健康と暮らしについての研究（平成28年3月、札幌市立大学共同研究費事業、pp.1-26）

＜学会発表＞1.地域自立高齢者における社会的健康格差要因一歯数との関連性（共同、平成27年6月、第26回日本老年歯科医学会）／2.特別養護老人ホームにおける歯科介入によるOral Assessment Guide（OAG）口腔内状況の変化（共同、平成27年6月、第26回日本老年歯科医学会）／3.Relationship between Fundamental Competencies for Working Persons and relative factors on the nursing professional career.（共同、平成27年6月、3rd Annual Worldwide Nursing Conference（WNC2015）（Singapore））／4.口腔ケアシミュレータ及びその手技記録ソフトウェアの開発（共同、平成27年10月、第3回看護理工学会学術集会）／5.看護領域における口腔ケアの評価に関するデータベースの構築（共同、平成27年10月、第3回看護理工学会学術集会）／6.地域自立高齢者の咀嚼能力と食事摂取状況との関連性（共同、平成27年11月、第73回日本公衆衛生学会）／7.介護保険施設の看護管理者への口腔ケアマネジメント研修の効果検証（共同、平成27年11月、第73回日本公衆衛生学会）／8.関節リウマチ患者の疾患活動性で比較した口腔清掃に伴う関節症状及び口腔内の状態（共同、平成27年11月、第30回日本リウマチ学会）／9.地域自立高齢者の Oral Assessment Guide（OAG）とその影響要因について（共同、平成27年11月、第80回日本民族衛生学会）／10.地域在住高齢者の生活の実態（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／11.在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／12.積雪寒冷地の地域在住高齢者のQuality of life（EuroQOL効用値）の実態（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／13.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／14.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／15.異なる年度に同一の課題を課したOSCE成績の比較（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／16.地域で生活する高齢者の閉じこもりに関する文献レビュー（共同、平成27年11月、第67回北海道公衆衛生学会）

＜学会シンポジウム＞1.高齢患者に対する周術期口腔機能管理を考える 今後の課題と取り組み 北海道の病院における看護管理者への実態調査の結果から（単独、平成27年5月、第26回日本老年歯科医学会学術大会）

＜学会招聘講演＞1.認知症の人への口腔アセスメント（単独、平成27年5月、第16回日本認知症ケア学会）／2.在宅療養患者コンフォート口腔ケアのために一多職種で共有できる口腔アセスメント（単独、



平成27年9月、第18回日本在宅ホスピス協会全国大会in奄美)

＜研究会発表等＞1.「口腔ケアと感染対策」(単独、平成28年3月、日本感染管理ベストプラクティス”saizen”研究会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Japan Journal of Nursing Science (1件、Japan Journal of Nursing Science)

＜学会役員就任状況＞日本摂食嚥下リハビリテーション学会(評議員)／日本口腔ケア学会(評議員)／日本公衆衛生学会(モニタリング委員)／日本口腔看護研究会(副代表世話人)／のみこみ安心ネット札幌(幹事)／北海道口腔ケア研究会(委員)／旭川口腔ケア普及研究会(幹事)

＜学術集会運営＞第16回日本認知症ケア学会／日本看護研究学会第26回北海道地方学術集会／第68回北海道公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞食と健康支援ネットワーク特別講演「多職種で共有できる口腔アセスメントと口腔ケア」(平成27年7月31日、食と健康支援ネットワーク)／口腔ケアを効果的に行うための「口腔ケアのアセスメント」(平成27年9月6日、いわて口腔ケア研究会)／道産針葉樹材を活用した新規製品開発検討委員会の座談会(平成28年2月5日、道産針葉樹材を活用した新規製品開発検討委員会)／「口腔ケアの教育」(平成28年3月11日～12日、第10回羊蹄地域ケアネットワーク研究会)／日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会「口腔ケアと感染対策 病院から介護まで」(平成28年3月19日、日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会)／平成27年度鹿児島県在宅歯科医療連携体制整備事業「介護専門職等研修会」「在宅療養患者コンフォート口腔ケアのために～多職種で共有できる口腔アセスメント～」(平成28年3月27日、大島郡歯科医師会)／第22回全国のつどいin鹿児島2016 奄美プレ大会「在宅療養患者コンフォート口腔ケアのために～多職種で共有できる口腔アセスメント～」(平成28年3月27日、在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク)／幹事：日本財団の助成で運営している、企画担当「第7回、第8回公開研修会を開催。事例検討会」(年間、のみこみ安心ネット札幌)／日本老年歯科学会の助成により運営している、企画担当「第14回北海道口腔ケアセミナーを開催」(年間、北海道口腔ケア研究会)／幹事、企画担当(年間、旭川口腔ケア普及研究会)／幹事、企画担当(年間、日本口腔看護研究会)／新人職員研修「口腔ケア」への支援(年間、市立札幌病院)

## 守村 洋

＜学会発表＞1.保護室隔離の際に急性期にある患者から暴力を受けた看護師の思い(共同、平成27年6月、日本精神保健看護学会第24回学術集会・総会)／2.札幌市内の救急医療機関に搬送された自殺未遂者に関する調査(共同、平成27年9月、日本自殺予防学会)／3.OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究 第一報(共同、平成27年12月、日本看護科学学会)／4.OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究 第二報(共同、平成27年12月、日本看護科学学会)／5.精神科看護師の疼痛アセスメント能力と個人特性との関係(共同、平成27年12月、日本看護科学学会)

＜学会シンポジウム＞1.身体科救急スタッフに向けた精神科救急患者の初期対応 PEEC公開コース(平成27年11月、日本総合病院精神医学会総会)

＜学会役員就任状況＞日本臨床救急医学会(自殺企図者のケアに関する検討委員)

＜学術集会運営＞第83回日本応用心理学会

＜講演会・講習会活動＞精神療養講座講師／ゲートキーパー研修会講師／札幌市市民後見人養成研修講師／生活支援員登録に向けた研修説明会講師

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞医療情報技師検定試験(医療情報技師育成部門)／勉強会講師(北海道消防職員協議会)／被災者支援のためのスキルアップ研修講師(北海道広域避難アシスト協会)／自殺未遂者支援研修講師(札幌市)／清田区障がい者支援関係者研修講師(札幌市清田区)／自殺未遂者支援研修講師(帯広保健所)／東胆振自殺予防対策推進連絡会議講師(苫小牧保健所)／平成27年度北海道自殺未遂者研修会講師(北海道)／看護研究支援(勤医協札幌西区病院)

## 渡邊 由加利

＜学術論文＞1.Laws Related to The Protection of Women's Health In Japan(共著、平成28年1月、Medicine and Law Journal)



＜著書＞1.疾患別看護過程（共著、平成27年9月、学研メディカル秀潤社、4780912164）／2.助産師国試対策スキルアップブック 第2版（共著、平成27年10月、海馬書房、4907921055）

＜学会発表＞1.Support for Survivors of Sexual Assault in Japan（共同、平成27年6月、"ICN Conference 2015"）／2.Laws related to the protection of women's health in Japan（共同、平成27年7月、21thworld congress on medical law）／3.Children's rights and marriage（共同、平成27年7月、"21thworld congress on medical law"）／4.「性暴力被害者支援センター北海道SACRACHーセンター開設2.5年間の活動実態ー」（共同、平成27年8月、第34回日本思春期学会学術集会）／5.Thoughts Regarding The Right to Life The Fetus-Based on US Legal Precedent Related to Abortion"（共同、平成27年10月）／6.Fital care in japan -From an analysis of relevant textbooks-（共同、平成27年10月、"10 th International Nursing Conference "）／7.母性看護学における看護実践能力を向上させるための教材開発ー装着型産褥子宮モデルー（共同、平成27年10月、第56回母性衛生学会学術集会）／8.Reliability and Validity of the Clinical Nursing Competency Scale（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会抄録集）／9.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会抄録集）／10.地域在住高齢者の生活の実態（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会抄録集）／11.在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会抄録集）／12.地域在住高齢者のQuality of life（EuroQOL効用値）の実態（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会抄録集）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.天使大学紀要（1件、天使大学紀要）

＜講演会・講習会活動＞平成27年度「赤ちゃんがやってくる～先輩パパ・ママと話そう」札幌市子育て支援総合センター（平成27年9月26日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「クレーム対応のワークショップ」の企画を行うための講義「考えよう！心の通う接遇～お母様方の満足度をたかめるために」ファシリテーター（平成27年8月23日、一般社団法人桶谷式乳房管理法研鑽会）

## 神島 滋子

＜その他の論文＞1.急性期の栄養管理が注目される理由 脳卒中患者の急性期における栄養管理と看護（単著、平成27年8月、日総研、1巻、2号、pp.76－82）／2.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第1回）札幌市立大学が企画した卒業生へのアサーティブ研修（共著、平成27年9月、医学書院、25巻、9号、pp.826－830）／3.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第2回）ノン・アサーティブタイプ教材「オロオロの巻」（共著、平成27年10月、医学書院、25巻、10号、pp.938－941）／4.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第3回）ノン・アサーティブタイプ教材「ドッカン」の巻」（共著、平成27年11月、医学書院、25巻、11号、pp.1050－1053）／5.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第4回）ノン・アサーティブタイプ教材「ネッチーの巻」（共著、平成27年12月、医学書院、25巻、12号、pp.1144－1147）／6.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第5回）”What’sチームワーク”シリーズ教材（1）「新人VS新人の巻」（共著、平成28年1月、医学書院、26巻、1号、pp.94－97）／7.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第6回）”What’sチームワーク”シリーズ教材（2）「新人フォローの巻」（共著、平成28年2月、医学書院、26巻、2号、pp.200－204）／8.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第7回）”What’sチームワーク”シリーズ教材（3）「新人VS2年目看護師の巻」（共著、平成28年3月、医学書院、26巻、3号、pp.304－308）

＜学会発表＞1.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第1報）卒業前スキルアップトレーニングについて（共同、平成27年7月、第25回日本看護学教育学会）／2.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第2報）シャトル研修について（共同、平成27年7月、第25回日本看護学教育学会）／3.褥瘡患者における日本語版EuroQolの信頼性と妥当性の検討（共同、平成27年8月、第17回日本褥瘡学会学術集会）／4.Freiburg Life Quality Assessment-wound module（FLQA-w）日本語版の信頼性・妥当性の検討（共同、平成27年8月、第17回日本褥瘡学会学術集会）／5.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、第35回日本看護科学学会）／6.積雪寒冷地



の地域高齢者のQuality of life (EuroQOL効用値) の実態 (共同、第35回日本看護科学学会) / 7.在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連 (共同、第35回日本看護科学学会) / 8.地域在住高齢者の生活実態 (共同、第35回日本看護科学学会)

＜学会座長就任状況＞人の手による作業の軽労化を軽労化するロボット技術 (平成27年10月、日本脳神経看護研究学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌医科大学札幌保健科学雑誌 (1件) / 2.第42回日本脳神経看護研究学会学会抄録 (15件)

＜学会役員就任状況＞日本脳神経看護研究学会 (日本脳神経看護研究学会北海道地方部会副会長) / 日本脳神経看護研究学会 (日本脳神経看護研究学会評議員) / 日本看護研究学会 (日本看護研究学会北海道地方会 研究奨励賞選考委員) / 日本脳神経看護研究学会 (日本脳神経看護研究学会 編集委員)

＜学術集会運営＞第42回日本脳神経看護研究学会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本脳神経看護研究学会 / 国際リハビリテーション看護学会 / 日本高次脳機能障害学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護管理学会 / 日本褥瘡学会 / 日本慢性看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新人研修会、講演会などの企画運営「新人研修会」 (平成27年5月・10月、日本脳神経看護研究学会) / カンファレンスについての講演・指導 (平成27年通年、北海道済生会小樽病院) / 中間看護師ステップアップ研修 (本学OSCE課題の共同作成を通じた研修) (平成27年通年、手稲溪仁会病院) / 各病棟の看護研究の支援 (平成27年通年、北海道中央労災病院脊損センター)

### 工藤 京子

＜その他の論文＞1.ナーシングプロセス膀胱がん (単著、平成27年12月、メヂカルフレンド社、37巻、1号、pp.15-29)

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第26回地方会

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 / 日本看護研究学会 / 日本慢性看護学会 / 日本創傷治癒学会 / 日本看護技術学会 / 日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究計画書の作成指導、看護研究成果発表会での講評「院内看護研究発表会」 (平成27年6～12月、札幌中央病院) / 中堅看護師研修コースの指導、授業への参加、OSCE課題作成指導「中堅看護師ステップアップ研修」 (平成27年4月～6月、平成27年8月～平成28年2月、手稲溪仁会病院)

### 櫻井 繭子

＜学会発表＞1.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化 (共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会) / 2.都市部に居住する高齢者のうつ状態に関連する要因 (共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会) / 3.都市部に居住する高齢者の健康及び生活状況とソーシャル・キャピタルとの関連 (共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会)

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会 (日本産業衛生学会産業看護部会幹事) / 日本産業衛生学会 (日本産業衛生学会北海道地方会産業看護部会幹事) / 北海道公衆衛生学会 (北海道公衆衛生学会評議員)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞産業看護職を対象とした研修会企画 (日本産業衛生学会北海道地方会産業看護部会)

### 田中 広美

＜作品発表＞1.注射針廃棄容器 (共同、平成27年8月27日～28日、イノベーションJapan2015)

＜学会発表＞1.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価 (第1報) 卒業前スキルアップトレーニングについて (共同、平成27年8月、第25回日本看護学教育学会)

＜学会座長就任状況＞神奈川県立二俣川高校の歴史など 全4演題 (平成27年8月、日本看護歴史学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学会学会誌 (9件)



＜学術集会運営＞日本看護歴史学会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護学教育学会／日本看護技術学会  
／日本看護歴史学会／日本看護管理学会／日本看護理工学会

### 原井 美佳

＜学術論文＞1.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発ー共に育み合う市民主体の学習の場づくりを目指してー（共著、札幌市立大学研究論文集10、10巻、1号、pp.19-29）

＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯に居住する高齢者の健康と暮らしについての研究（平成28年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.尿失禁のリスク要因の検討ー前期高齢者の女性と中年期女性の比較ー（共同、平成27年9月、第22回日本排尿機能学会）／2.異なる年度に同一の課題を課したOSCE成績の比較検討（共同、第35回日本看護科学学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第68回北海道公衆衛生学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会  
／日本公衆衛生学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本産業カウンセラー協会／日本認知症ケア学会／日本女性骨盤底医学会／日本コンチネンス協会／北海道公衆衛生学会／福祉住環境コーディネーター協会／札幌市介護支援専門員連絡協議会／愛知排泄ケア研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院看護部）

### 藤井 瑞恵

＜学術論文＞1.The combination of abdominal obesity and high-sensitivity C-reactive protein predicts new onset of hypertension in general Japanese population.（共著、平成27年5月、Hypertension Research、38号、pp.426-432）／2.Association between toothbrushing and risk factors for cardiovascular disease: a large-scale, cross-sectional Japanese study（共著、平成28年1月、BMJ Open、2016;6:e009870 doi:10.1136/bmjopen-2015-009870巻）

＜その他の論文＞1.腹部肥満、hsCRPと高血圧（雑誌 血圧）（共著、平成27年11月、先端医学社、22巻、11号、pp.786-787）

＜学会発表＞1.北海道における壮年期透析患者の冬期通院の現状（共同、平成27年5月、北海道透析療法学会）／2.地域一般住民における年齢および口腔内健康状態とインスリン抵抗性との関係（共同、平成27年6月、日本老年医学会北海道地方会）／3.糖尿病性腎症を持つ壮年期維持透析患者の就労とソーシャルサポートの関係～糖尿病・非糖尿病の比較～（共同、平成27年6月、日本透析医学会）／4.北海道における壮年期維持透析患者のADL予測因子（共同、平成27年6月、日本透析医学会）／5.北海道における壮年期維持透析患者のADLと就労の関係（共同、平成27年6月、日本透析医学会）／6.はみがき習慣と心血管疾患リスク因子との関係（共同、平成27年6月、日本循環器予防医学会）／はみがき習慣と心血管疾患リスク因子との関係ー5年間コホート研究ー（共同、平成27年6月、日本循環器予防医学会）

＜学会座長就任状況＞専任査読者（日本糖尿病教育・看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本糖尿病教育・看護学会誌（3件、糖尿病教育・看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生協会（評議員）

＜学術集会運営＞日本応用心理学会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学科／日本慢性看護学会／日本糖尿病看護・教育学会／日本看護管理学会／日本透析医学会／日本循環器病予防学会／日本疫学会／日本公衆衛生学会／日本糖尿病学会／日本老年医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究発表総評（平成27年11月14日、北海道看護協会札幌第一支部）／院内研究支援（札幌厚生病院）

### 三上 智子

＜実務関係報告書＞1.JICA草の根技術協力事業（モンゴル国）先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導（共著、平成28年3月、札幌市立大学看護学部）



＜学会発表＞1.小児看護学実習における看護実践能力習得の実態と課題（共同、平成27年7月、日本小児看護学会第25回学術集会）／2.北海道内小学校の保健授業における医教連携ニーズ（共同、平成27年10月、第50回北海道学校保健学会）／3.北海道内中学校の保健授業における医教連携ニーズ（共同、平成27年10月、第50回北海道学校保健学会）／4.転倒予防マットレスを用いた運動プログラムの導入による低学年児童の基礎活動力の変化（共同、平成27年11月、日本学校保健学会第63回学術集会）／5.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本学校保健学会／日本小児保健協会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本母性衛生学会／日本看護管理学会／日本育療学会／北海道成育看護研究会／北海道小児保健研究会

＜講演会・講習会活動＞ACUまなびシェアキッズワークショップ2015 講義・ワークショップ「小児看護師の仕事にチャレンジ！」（平成27年8月3日、ACU）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞会計・行事企画運営（札幌市立大学看護学部親睦会）

### 矢野 祐美子

＜学会発表＞1.健康長寿社会を実現する統合医療とポジティブ看護（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞せいれい看護学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会運営事業 平成27年度例会in北海道

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞認定看護管理者教育課程ファーストレベル「看護サービス提供論」（静岡県看護協会）

### 山内 まゆみ

＜受賞等＞1.平成27年度研究奨励賞（研究発表）（平成27年7月、日本看護研究学会北海道地方会）

＜学会発表＞1.母性看護学の看護実践能力を向上させるための教材開発（共同、平成27年9月、第56回日本母性衛生学会）／2.分娩施設まで長距離の移動を要する妊婦が分娩準備教育を施設と市町村で受ける機会（共同、平成27年9月、第56回日本母性衛生学会）／3.地域在住高齢者の生活の実態（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会）／4.在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会）／5.積雪寒冷地の地域在住高齢者のQuality of Life（EuroQOL効用値）の実態（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会）／6.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会）

### 山本 真由美

＜その他の論文＞1.新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開（第3回）ノン・アサーティブ教材「ドッカン」の巻」（共著、平成27年11月、医学書院、看護管理25巻、11号、pp.1050-1053）

＜学会発表＞1.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第1報）卒業前スキルアップトレーニングについて（共同、平成27年8月、第25回日本看護学教育学会学術集会）／2.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第2報）シャトル研修について（共同、平成27年8月、第25回日本看護学教育学会学術集会）／3.母性看護学における看護実践能力を向上させるための教材開発—装着型産褥子宮モデル—（共同、平成27年10月、第56回日本母性衛生学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.保健科学研究誌（熊本保健科学大学）（1件）

＜学術集会運営＞第83回日本応用心理学会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本看護科学学会／日本母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護管理学会／日本看護学教育学会／日本看護技術学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道看護協会教育委員として運営「看護研究」（平成27年4月23日～24日、北海道看護協会）／看護研究支援（講義および研究指導）「看護研究（研究計画書の作成・質的分析）講義」（平成27年5月15日、北海道がんセンター）、「看護研究指導」（平成27年10月～平成28年1月、北海道がんセンター）、「研究発表会講評」（平成28年3月14日、北海道がんセンター）



### 石引 かずみ

＜学会発表＞1.母性看護学の看護実践能力を向上させるための教材開発ー装着型産褥子宮モデルー（共同、平成27年10月、第56回日本母性衛生学会学術集会）

### 小田嶋 裕輝

＜学術論文＞1.2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めると認識している支援内容の検討（共著、平成27年9月、日本糖尿病教育・看護学会雑誌）／2.患者の首尾一貫感を改善する介入方法に関する文献的考察（共著、平成27年6月、札幌市立大学研究論文集）／3.アニマルセラピーに関する国内文献における介入方法と介入効果指標の検討ー医療への活用に向けた示唆ー（共著、平成28年3月、北海道公衆衛生学会誌）

＜学会発表＞1.看護基礎教育の臨床実習における物理的環境の現状と課題（第1報）中国・四国地方の3年課程看護学校に焦点を当てて（共同、平成27年8月、第19回日本看護管理学会学術集会）／2.看護基礎教育の臨床実習における物理的環境の現状と課題（第2報）中国・四国地方の3年課程看護学校に焦点を当てて（共同、平成27年8月、第19回日本看護管理学会学術集会）／3.地域保健分野で活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度の開発（共同、平成28年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／4.後期高齢者の社会活動の実践に関連する要因（共同、平成28年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／5.ソーシャル・キャピタルを醸成する保健師活動の特徴（共同、平成28年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／6.Developing an Educational Program to Enhance Sense of Coherence in Patients with Diabetes Mellitus Type 2（共同、平成28年3月、19th East Asian Forum of Nursing Scholars）

### 柏倉 大作

＜学会発表＞1.「OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究 第二報」（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／2.「OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究 第一報」（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）／3.「大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化」（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会）

＜学術集会運営＞第42回日本脳神経看護学会（当日の受付業務）

＜講演会・講習会活動＞地域の包括的な医療に関する研究会 講演会

### 近藤 圭子

＜学会発表＞1.都市部に居住する 高齢者のうつ状態に関連する要因（共同、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）／2.都市部に居住する高齢者の健康及び生活状況とソーシャルキャピタルとの関連（共同、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）／3.後期高齢者の社会活動の実践に関連する要因（共同、平成28年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜研究会発表等＞1.地域在住高齢者の社会活動と健康習慣指数・健康管理自己効力感との関連について（平成27年11月、SCU産学官研究交流会）

＜学術集会運営＞北海道公衆衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞当日の受付等の運營業務（北海道地域医療研究会）

### 田仲 里江

＜学術論文＞1.親密な関係にある者からの暴力的事犯被害者への支援方策に関する検討～警察官と医療従事者の連携体制の課題について～（共著、平成27年6月、日本フォレンジック看護学会誌、1巻、2号、pp.50-58）

＜その他の論文＞1.ニューヨーク市における性暴力被害者支援の実際～LenoxHill救急専門病院のForensic Nurse活動より～（共著、平成27年6月、日本フォレンジック看護学会誌、1巻、2号、pp.85-91）

＜学会発表＞1.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第1報）卒業前スキルアップ



トレーニングについて（共同、平成27年7月、第25回日本看護学教育学会学術集会）／2.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第2報）シャトル研修について（共同、平成27年7月、第25回日本看護学教育学会学術集会）／3.Support of the Elderly in Urban Communities and Support-Related Issues（共同、平成27年8月、THE6th ICCHNR）／4.北海道内小学校の保健授業における医教連携ニーズ（共同、平成27年10月、第50回 北海道学校保健学会）／5.北海道内中学校の保健授業における医教連携ニーズ（共同、平成27年10月、第50回 北海道学校保健学会）／6.地域保健活動に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度開発のための予備調査（共同、平成27年10月、第74回日本公衆衛生学会学術集会）／7.脆弱性骨折患者の日常生活に対する実態調査（共同、平成27年11月、第46回 日本看護学会 ヘルスプロモーション学術集会）／8.後期高齢者の社会活動の実践に関連する要因（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／9.地域保健活動に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度の開発（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／10.ソーシャル・キャピタルを醸成する保健師活動の特徴（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／11.都市部に居住する高齢者の健康及び生活状況とソーシャル・キャピタルとの関連（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）／12.都市部に居住する高齢者のうつ状態に関連する要因（共同、平成28年1月、第4回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学術集会運営＞北海道公衆衛生学会（運営委員）

＜所属学会・研究会＞日本地域看護学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／日本看護学教育学会／日本公衆衛生看護学会／日本学校保健学会／北海道公衆衛生学会／看護総合科学研究会／日本フォレンジック看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞平成27年度白石すこやかフェスタへ学生と共にボランティア（白石すこやかフェスタ実行委員会）

### 坂東 奈穂美

＜学術論文＞1.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発－共に育み合う市民主体の学習の場づくりを目指して－（共著、平成28年1月、札幌市立大学研究論文集）

＜学会発表＞1.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価－第1報 模擬患者活動に対する意識の変化－（共同、平成27年12月、日本看護科学学会学術集会）／2.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価－第2報 模擬患者の成長に焦点を当てて－（共同、平成27年12月、日本看護科学学会学術集会）

＜学術集会運営＞看護管理学会 例会 in 北海道

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞大学・病院連携支援（看護研究の指導）（札幌厚生病院）

### 檜山 明子

＜学術論文＞1.入院患者の転倒に至る生活行動の解明（共著、平成27年5月、木村看護教育振興財団看護研究集録）／2.入院患者の転倒リスクアセスメントツールの予測精度－国内データベースを用いた文献検討－（共著、平成28年1月、日本医療・病院管理学会誌、53巻、1号、pp.31－39）／3.入院患者の転倒予測を目的とした転倒リスク行動アセスメントツールの開発（単著、平成28年3月、札幌市立大学大学院）

＜学会発表＞1.一般病棟入院患者の転倒予防に向けた看護実践の実態調査（共同、平成27年8月、第41回日本看護研究学会学術集会）／2.女性看護師の飲酒行動と自己コントロールの実際 北海道内の病院に勤務する看護師に焦点をあてて（共同、平成27年9月、第15回日本看護技術学会学術集会）／3.看護師個人が看護の質を維持するための手段（共同、平成27年9月、第15回日本看護技術学会学術集会）／4.OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究（第一報）（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／5.OSCEにおけるタブレット型端末を活用した効果的な評価システムに関する研究（第二報）（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／6.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／7.積雪寒冷地の地域在住高齢者のQuality of life（EuroQOL効用値）の実態（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／8.在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／9.地域在住高齢者の生活の実態（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／10.精神科看護師の疼痛アセスメント能力と個人特



性との関係（共同、平成27年11月、第35回日本看護科学学会学術集会）／11.Characteristics of Fall Risk Behaviors of Hospitalized Patients in Japanese Hospitals.（共同、平成28年3月、19th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／看日本看護技術学会／北のケア環境研究会／日本医療・病院管理学会／看護総合科学研究会／日本看護管理学会／日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員（事務局）（平成27年4月22日、7月3日、11月24日、平成28年2月22日、北のケア環境研究会）／研究発表会支援「院内研究発表会」（平成28年3月8日～3月9日、札幌徳洲会病院）

### 星 幸江

＜学会役員就任状況＞日本応用心理学会第83回大会（日本応用心理学会第83回大会実行委員）

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護協会／北海道看護協会

### 御厩 美登里

＜学術論文＞1.在宅死を可能にするための在宅ケア基盤づくりの方略ーフィンランドと日本の比較検討に向けての2014年度基礎調査（共著、平成27年6月、地域ケアリング）

＜著書＞1.医療事前指示書：私への医療・私の終末期はこうしてほしい（共著、平成28年2月、ナカニシヤ出版、4779510236）

＜調査研究報告書＞1.市民参加型のSCU模擬患者養成プログラムの開発～共に育み合う市民主体の学習の場づくりを目指して.平成26年度COC共同研究費研究成果報告書（平成27年8月）／2.人生の終焉を自分らしく生ききるためのガイド 意思決定を支援する事前指示書の作成と検証.平成26年度COC共同研究費研究成果報告書（平成27年8月）／3.地域住民を交えたデザイン・看護合同シミュレーション教育の基礎的研究：ICT活用科目における学生視点での言語的および非言語的評価（平成28年3月）

＜学会発表＞1.意思決定を支援する医療事前指示書：フォーカスグループによる検証（共同、平成27年7月、第20回日本在宅ケア学会）／2.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第1報）卒業前スキルアップトレーニングについて（共同、平成27年8月、日本看護学教育学会第25回学術集会）／3.大学主催による新卒看護職員のための社会化支援の評価（第2報）シャトル研修について（共同、平成27年8月、日本看護学教育学会 第25回学術集会）／4.地域在住高齢者の生活の実態（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／5.在宅高齢者の外出の状況とQOLの関連（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／6.積雪寒冷地の地域在住高齢者のQuality of life（EuroQOL効用値）の実態（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／7.広域寒冷地在住高齢者の感じる今後の不安要因（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／8.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第1報 模擬患者活動に対する意識の変化～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）／9.市民参画型の模擬患者養成プログラムの開発と評価～第2報 模擬患者の成長に焦点を当てて～（共同、平成27年12月、第35回日本看護科学学会学術集会）

### 横川 亜希子

＜学会発表＞1.就職後1年以内に医療事故の当事者となった看護師の職業経験に関する研究ー医療事故の克服過程で生じた経験に焦点を当ててー（共同、医療の質・安全学会学術集会）／2.大卒看護職者1年目から5年目の「看護師として必要な基本姿勢と態度」及び「社会人基礎力」の経年別変化（共同、日本看護科学学会学術集会）／3.精神科看護師の疼痛アセスメント能力と個人特性との関係（共同、日本看護科学学会学術集会）

＜学術集会運営＞第25回看護学教育学会学術集会

### 木田 妙

＜学会発表＞1.骨盤の緩み・ゆがみの実態ー出産経験の無い女性を対象にー（単独、平成27年10月、日本母性衛生学会）／2.女子学生の有する不快症状の骨盤ケアによる効果ー頭痛、腰痛、生理痛、肩こり、冷え症に着目してー（単独、平成27年10月、日本母性衛生学会）

＜所属学会・研究会＞日本母性衛生学会／北海道母性衛生学会



## 教育支援プロジェクトセンター

### 中田 亜由美

＜調査研究報告書＞1.札幌市南区における高齢者の外出困難要因の明確化（共著、平成27年8月、札幌市立大学 平成26年年度COC共同研究費 研究成果報告書、pp.19-26）

＜学会発表＞1.道内A地区在住高齢者の外出困難要因の明確化 第一報（共同、平成27年7月、第20回日本在宅ケア学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業（共同、平成28年2月、高知大学「地（知）の拠点整備事業シンポジウム～COC全国ネットワーク化事業～」）

＜所属学会・研究会＞一般社団法人日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／看護総合科学研究会／北海道成育看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞上遠野教授と地域連携課職員とともに、企画・運営を行った。一般社団法人北海道チャレンジアート&プロダクツと連携して、アートセンターあいのさとおよびともに福祉から利用者の作品の無償貸与を受け、まちの学校に作品の展示を行い、地域住民へ、アウトサイダーアートの魅力を伝えた。展示品は、86点である。「「学び舎」で考える障害者アート展」（平成27年12月4日～26日、札幌市立大学）

### 藪谷 祐介

＜学会発表＞1.道内A区在住高齢者の外出困難要因の明確化 第一報（共同、平成27年7月、日本在宅ケア学会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／アートミーツケア学会／日本在宅ケア学会／NPO法人まちづくりデザインサポート

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、  
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの  
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。  
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、  
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 平成27年度 第10号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 平成28年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <http://www.scu.ac.jp>